Brimload U3 | 2026年10月19日

0 はじめに

Brimloadソフトウェアは、コンテナへの貨物の積付け計画を支援します。カートン（またはパレット積みのユニットロード）の寸法から積付けプランを計算し、積付けプランを対話的に編集できます。

コンテナの積付け計画は、サプライチェーンの連携に明確さと確実さをもたらします。

- 荷主のコストを削減します。計画してから実行し、容積積載率を高めます。
- 購買担当者が品目と数量の組み合わせを調整し、FCL（コンテナ1本単位の貨物）で発注できるようにします。
- LCL（混載）を扱う業者が配送コストを把握し、競争力のある見積もりを出せるようにします。

Brimloadは64ビット版のWindowsで動作します。

このバージョンは1440 x 900の解像度向けで、表示の拡大率（スケーリング）が100%のときに正しく表示されます。

インターネットにはアクセスしませんが、ハードディスク上のファイルを読み書きします。

このダウンロードは、64ビット版WindowsのPC用のU3 v261027体験版パッケージです。体験版の期間は、お使いのコンピューターで初めて起動したときから始まります。ウェブサイトからのダウンロードは30日間、登録制のダウンロードは180日間で、いずれも最長で2027年11月26日までです。期間が終了すると、起動時にプログラムがその旨を表示します。v261019以降、リリースには新しい英語名Brimload（旧称SmartPacker）を使っています。プログラムはBrimloadU3.exeで、ウィンドウのタイトルとメッセージにもBrimloadと表示されます。

保存した出荷ファイルを開けるのは、現在のところ同じエディションの中だけです。Brimload U3は、U3で保存した出荷ファイルを英語版・中国語版ともに開けます。SmartPacker U3で保存したものも含みます。
Brimload T3で保存したファイルには対応していません。新しいバージョンで保存したファイルは、古いバージョンでは開けないことがあります。

- 本ソフトウェアは現状のまま提供され、提供者はいかなる保証も責任も負いません
- ソフトウェアとパッケージをクラックまたは改変しないものとします。
- 更新はhttps://brimload.com/ja/u3/で確認できます。

Brimloadのほかのエディションはbrimload.comにあります。標準版のほかに、

- ZhiHuoは、特定の積付けルールに合わせたアルゴリズムのカスタム開発を提供しています。
- ソフトウェアがPMS、OMS、WMSのデータを取り込み、お客様の出荷スケジュールのルールに沿ってプランを計算することもできます
- ユーザーインターフェースのカスタマイズや、お客様のテンプレートを使ったExcelでのその他の書類の作成

連絡先メール：zhzx@zhihuo.com

1 ソフトウェアパッケージ

ソフトウェアパッケージのzipファイルを右クリックし、解凍先のフォルダーを選びます。

- Zのロゴが付いたBrimloadU3.exeをダブルクリックすると、アプリケーションが開きます（インストールは不要です）。
- BrimloadU3.pdfはユーザーマニュアルです。
- ソフトウェアパッケージには、個別の.dllや.bplのサポートファイルは含まれなくなりました。解凍後は、ZIPパッケージのファイルとフォルダーをまとめて置いておいてください。
- data/u3サブフォルダーのmasterdata.xlsxには、品目／ユニットロードのデータと積載スペースのデータが保存されています。cargosシートには品目／ユニットロードの仕様が、containersシートには積載スペースの仕様が入っています。パッケージのデータはサンプルなので、お使いの実際の貨物とコンテナに合わせて調整してください。

以前、データをcargos.xlsxとcontainers.xlsxの2つのファイルで管理していた場合は、手作業で1つのmasterdata.xlsxファイルにまとめて切り替えてください。必要であればZhiHuoにお問い合わせください。

U3は一般向けのダウンロード／体験版のエディションです。今後のパッケージでデータファイルの構成が変わることがあります。現在のパッケージのマニュアルに従ってください。以前の体験版のデータは自動では移行されません。データの移行にサポートが必要な場合は、ZhiHuoにお問い合わせください。

Replay/Recovery（再生／復旧）のログバンドル

Configuration -> Replay / recovery log -> Record log bundle（設定 -> 再生／復旧ログ -> ログバンドルを記録）が有効になっていると、Brimloadはtmpフォルダーの下にセッションのログバンドルを作成します（例：`tmp\u3_20260619_101500.zip`）。バンドルは、異常終了からの復旧、再生、サポートでの問題の再現に使われます。

バンドルには、manifest.json、replay_log.txt、debug.log、setting.json、マスターデータ・注文・出荷ファイルなどの入力ファイルのコピー、セッション中に保存した出力ファイルのコピー、任意で画面のスクリーンショット、表示環境の情報、Brimloadのアカウントとビルドのバージョンが含まれることがあります。画面のスクリーンショットはBrimloadのウィンドウから取得され、Windowsのデスクトップ全体からではありません。

Brimloadがこれらのファイルを自動でアップロードすることはありません。問題を報告したいときは、まずバンドルの中身を確認し、内容の共有に同意できる場合はZhiHuoと共有してください。tmpにある古いバンドルは、ご自分で移動、保管、削除してかまいません。バンドル内のファイルを編集または削除すると、再生や復旧ができなくなることがあります。

Replay/Recoveryは、このリリースではベータ機能です。ベータ版の復旧バンドルが、今後のBrimloadのバージョンでも復旧できるとは限りません。Brimloadがバンドルを確認専用または未対応と表示した場合は、確認済みの復旧した積付けプランとして扱わず、バンドルを変更せずにZhiHuoのサポートと共有してください。Recoveryで復旧した積付けプランを開いたときは、内容を確認し、Save As（名前を付けて保存）で復旧したコピーを保存してください。

2 品目とコンテナのデータの準備

data/u3/masterdata.xlsxをMicrosoft Excelで開きます。cargosシートにはユニットロードのサンプルデータがあります。サンプルデータをお使いのデータに置き換えれば、ソフトウェアでお使いの貨物を計算できます。

Product Table（品目表）とContainer Table（コンテナ表）のページでも、アプリ内で既存の品目やコンテナの行を編集できます。品目やコンテナの行を編集すると、まずメモリ上のマスターデータが変更され、ページのタブに`*`が付きます。ブックに書き込まれるのは、Save Masterdata（マスターデータを保存）またはSave Masterdata As（名前を付けてマスターデータを保存）を使ったときだけです。アプリ内の未保存の編集を破棄して、使用中のブックを読み込み直すには、Reload Masterdata（マスターデータを再読み込み）を使います。スプレッドシートでのフィルター、並べ替え、行の追加・削除、品目IDやコンテナIDの変更には、Open Masterdata in Excel（Excelでマスターデータを開く）を使い、Excelで保存してからアプリで読み込み直してください。

品目が入った積付けページが開いている間は、Container Tableページの編集ボックスと、Load Masterdata（マスターデータを読み込む）とReload Masterdataのボタンがグレー表示になります。ポインターを合わせると理由が表示されます。表を変更したり読み込み直したりするには、まずそれらのページを保存して閉じてください。Container Tableのものと異なるコンテナ、またはContainer Tableにもうないコンテナを使ったプランを開く場合も同じです。

保存したプランには、そのコンテナの仕様が保持されます（「containers」シート。手作業で編集しないでください）。プランを開いたとき、Container Tableにそのコンテナが別の値で入っているか、もう入っていない場合、プランは保存されたコンテナで開き、警告が表示されます。積載スペースが同じコンテナは1つとみなされ、プランは表の中で最初のコンテナとして開き直されます。そのシートがない、かなり古いバージョンで保存したプランは、表の中のコンテナの位置で開きます。行を追加・削除したり寸法を変えたりした後では、別のコンテナで開いたり、開けなかったりすることがあります。その場合は、保存したときのマスターデータで開き、もう一度保存してください。このバージョンで保存したプランを古いバージョンで開かないでください。別のコンテナで開いたり、予期せず終了したりすることがあります。

	A	B	C	D	E	F
1	Name	Length/mm	Width/mm	Height/mm	Weight/kg	Capacity/kg
2	SP A full	1219	1067	800	300	800
3	SP A half	1219	1067	400	150	800
4	SP B full	1200	1000	780	220	750
5	SP B half	1200	1000	390	140	700
6	SP C	1165	1165	1000	230	720
7	SP D	1067	1067	950	350	1200
8	SP E	1100	1100	420	200	1400
9	SP F	1200	800	450	250	920
10	SP G	1219	1016	700	290	855
11	SP H	1219	1219	850	380	1200

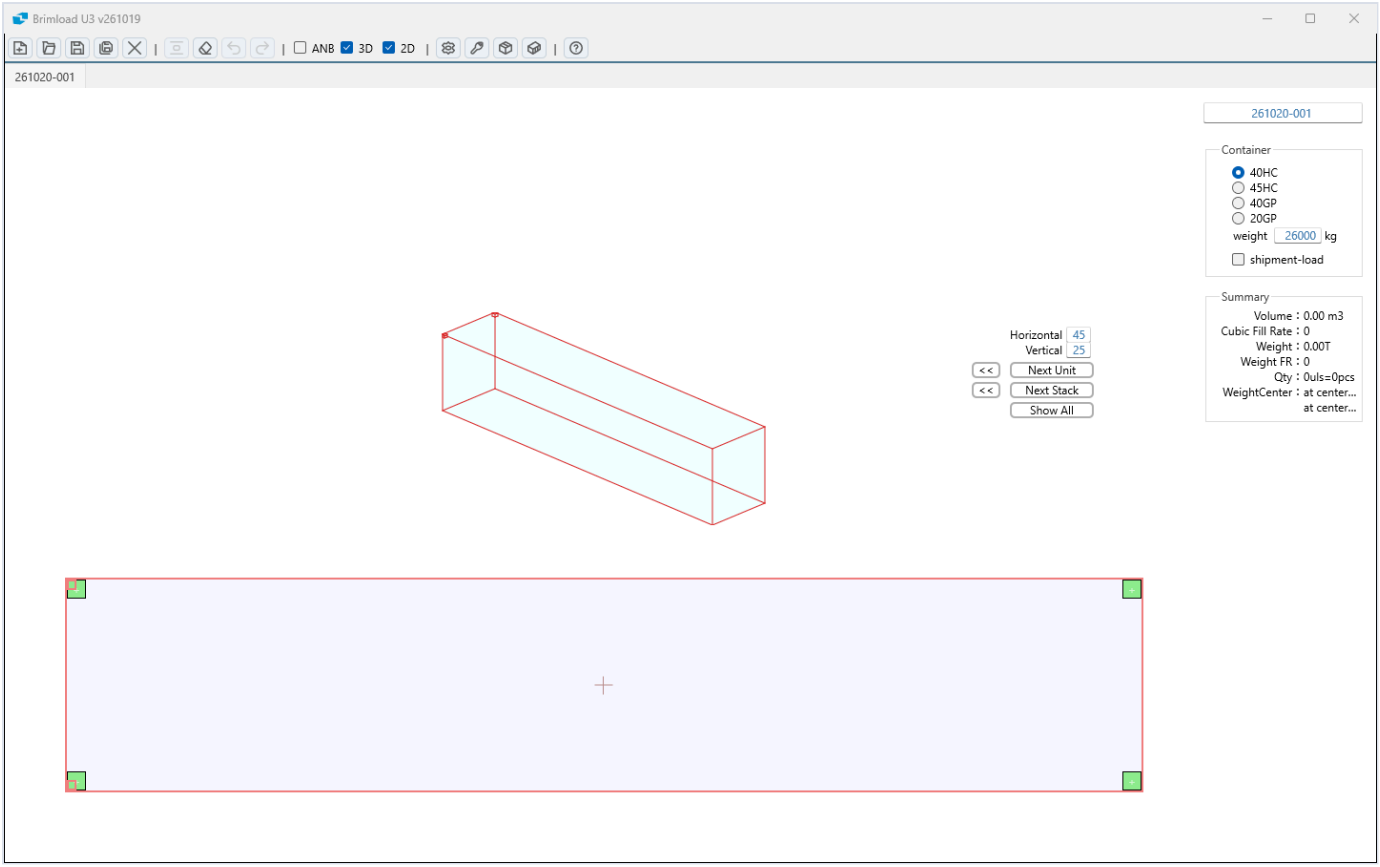
data/u3/masterdata.xlsxのcontainersシートをMicrosoft Excelで開きます。このシートには、コンテナの種類ごとの積載スペースの仕様があります。お使いの状況に合わせてデータを修正してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	ID	nner length/m	Inner width/m	nner height/m	rner fitting length/	orner fitting width/m	rner fitting height/	oor frame depth/m	oor height limit/m	ength margin/m	Width margin/m	eight margin/m	Weight capacity/kg
2	40HC	12000	2340	2690	110	110	85	150	2580	150	20	80	26000
3	45HC	13500	2340	2690	110	110	85	150	2580	150	20	80	26000
4	40GP	12000	2340	2330	110	110	85	150	2270	150	20	80	26000
5	20GP	5810	2340	2330	110	110	85	150	2270	150	20	80	22000

データのカスタマイズについては、第4章で詳しく説明します。

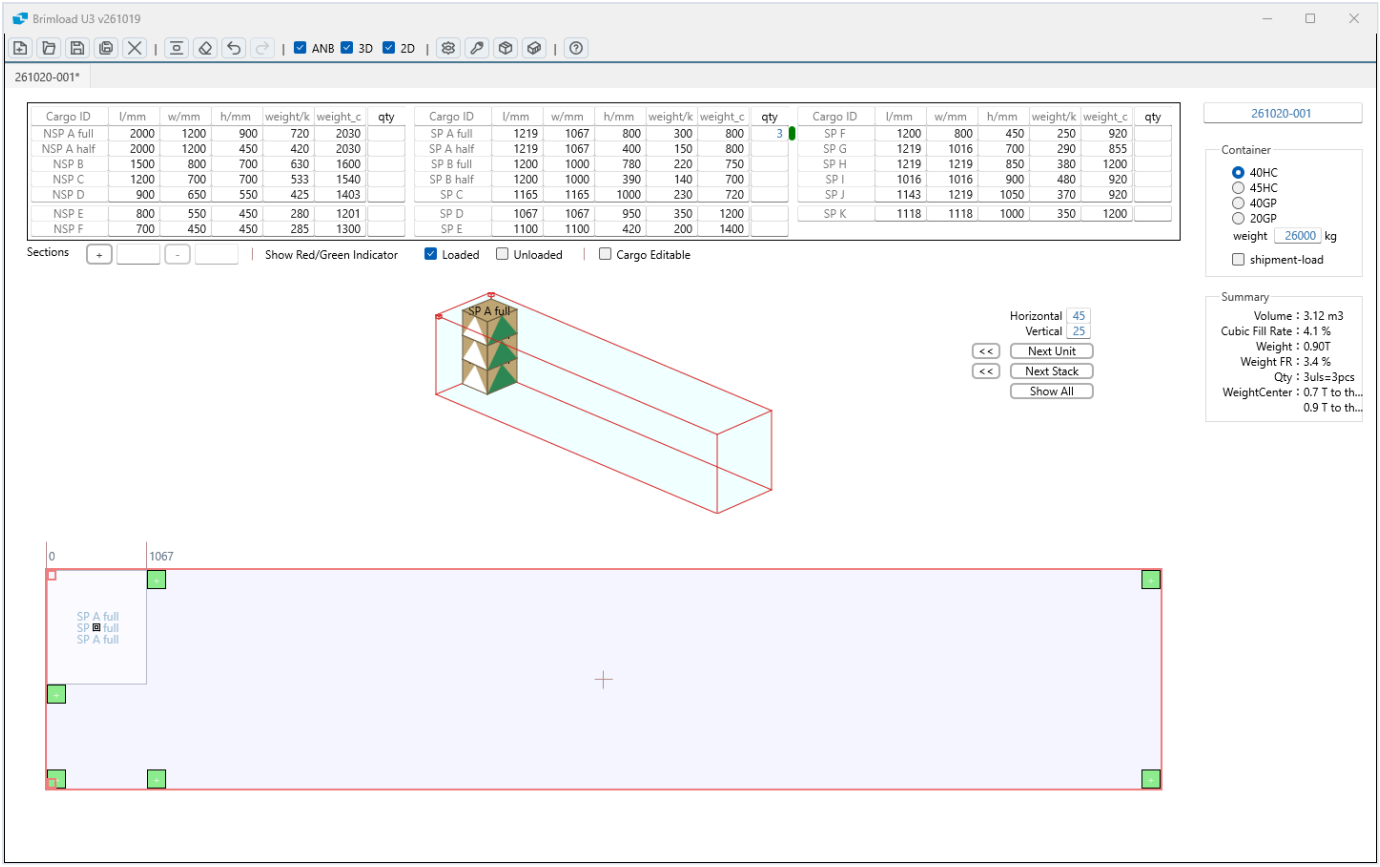
2 アルゴリズムでコンテナに積む

体験版パッケージに付属のサンプルデータで起動すると、次のような画面が表示されます

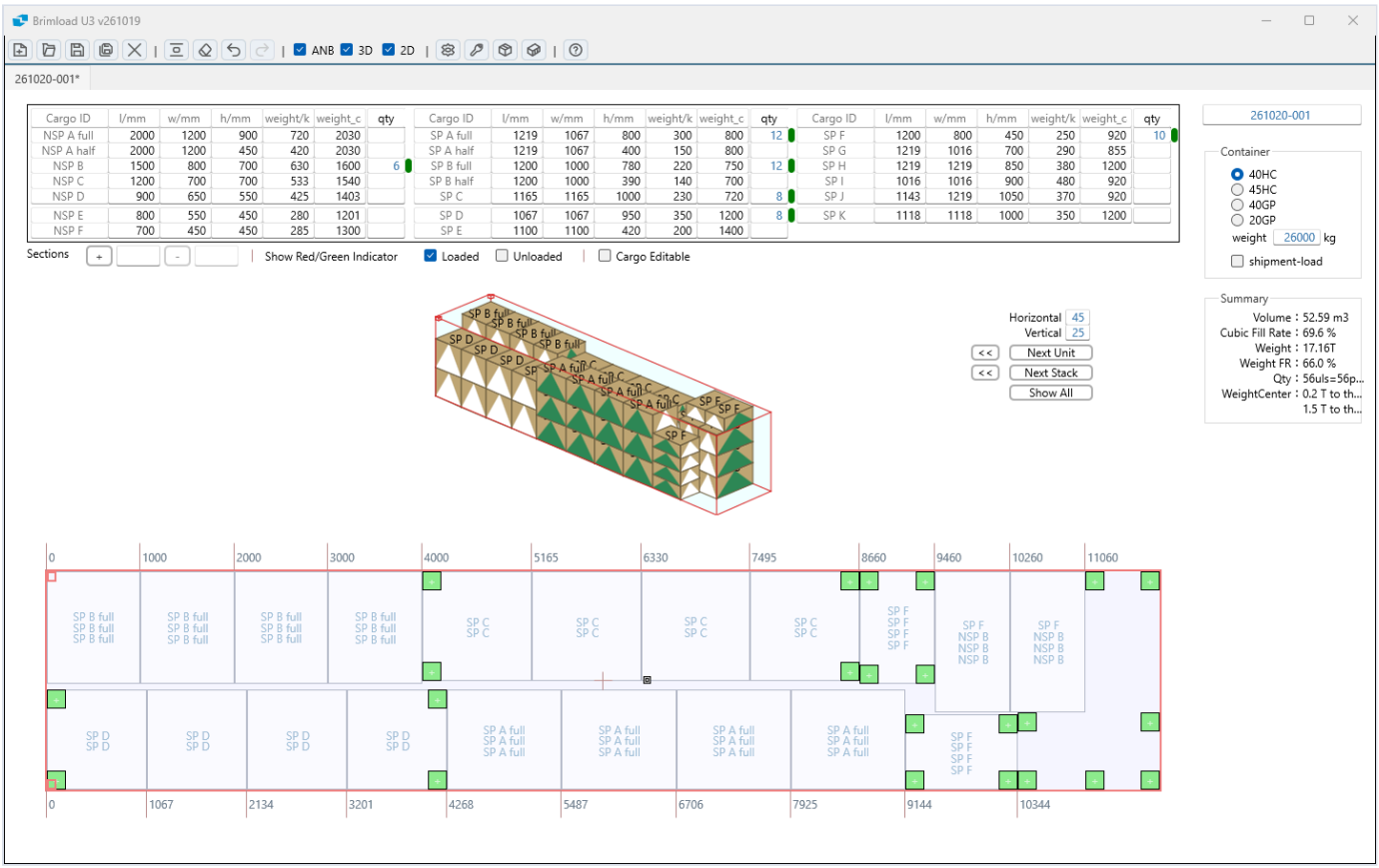


「ANB」にチェックを入れると、20品目の仕様と数量が一覧表示されます。

- 数量は空欄なので、下のコンテナは空です。
- マウスポインターを数量に合わせてホイールを回すと、数量が増え、下のコンテナに貨物が積まれていきます。

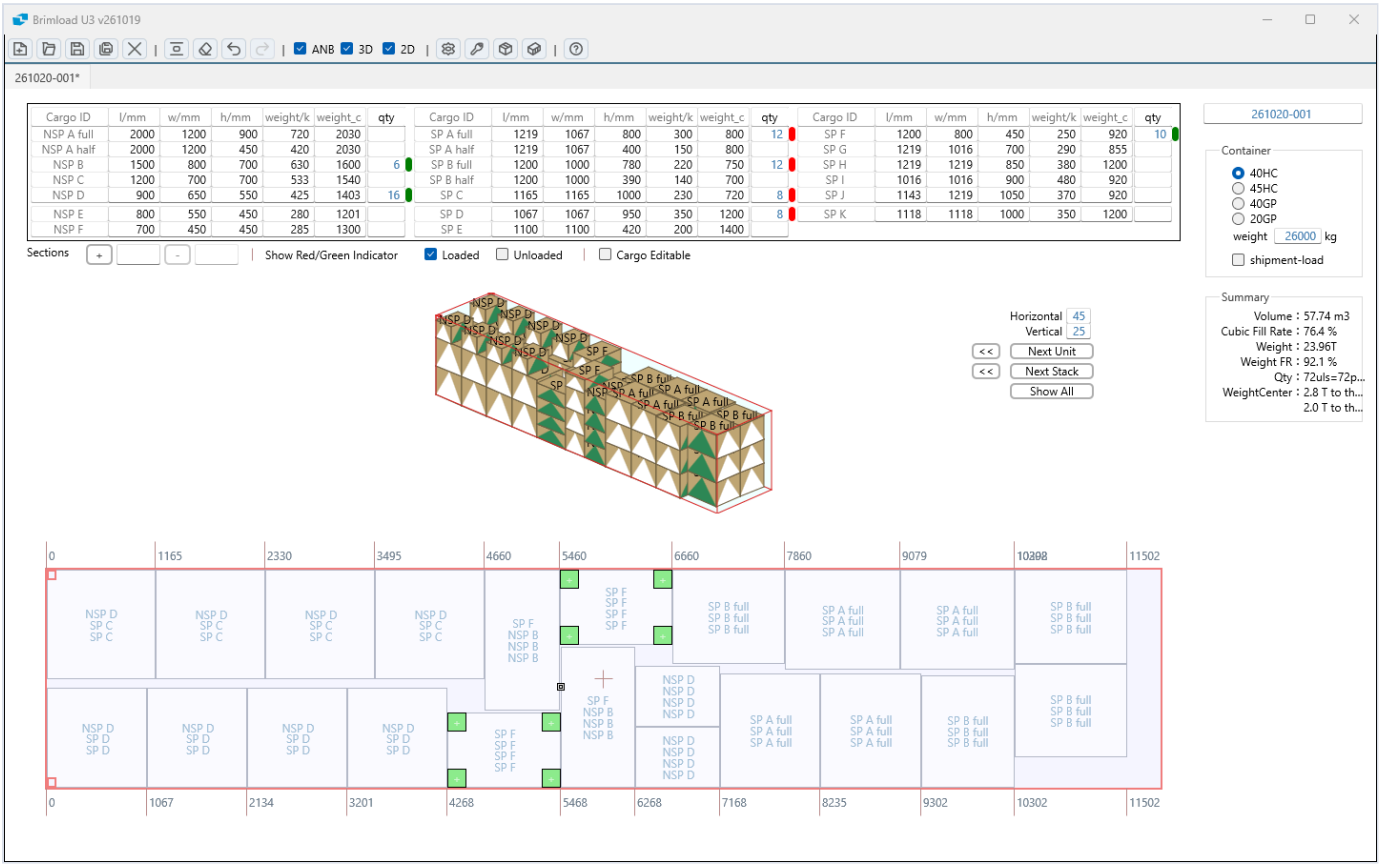


さらに数量を増やすと、コンテナの奥（ドアの反対側）から貨物の積み山が積まれていきます。プランは、コンテナの床面積をできるだけ使わないように作られます。

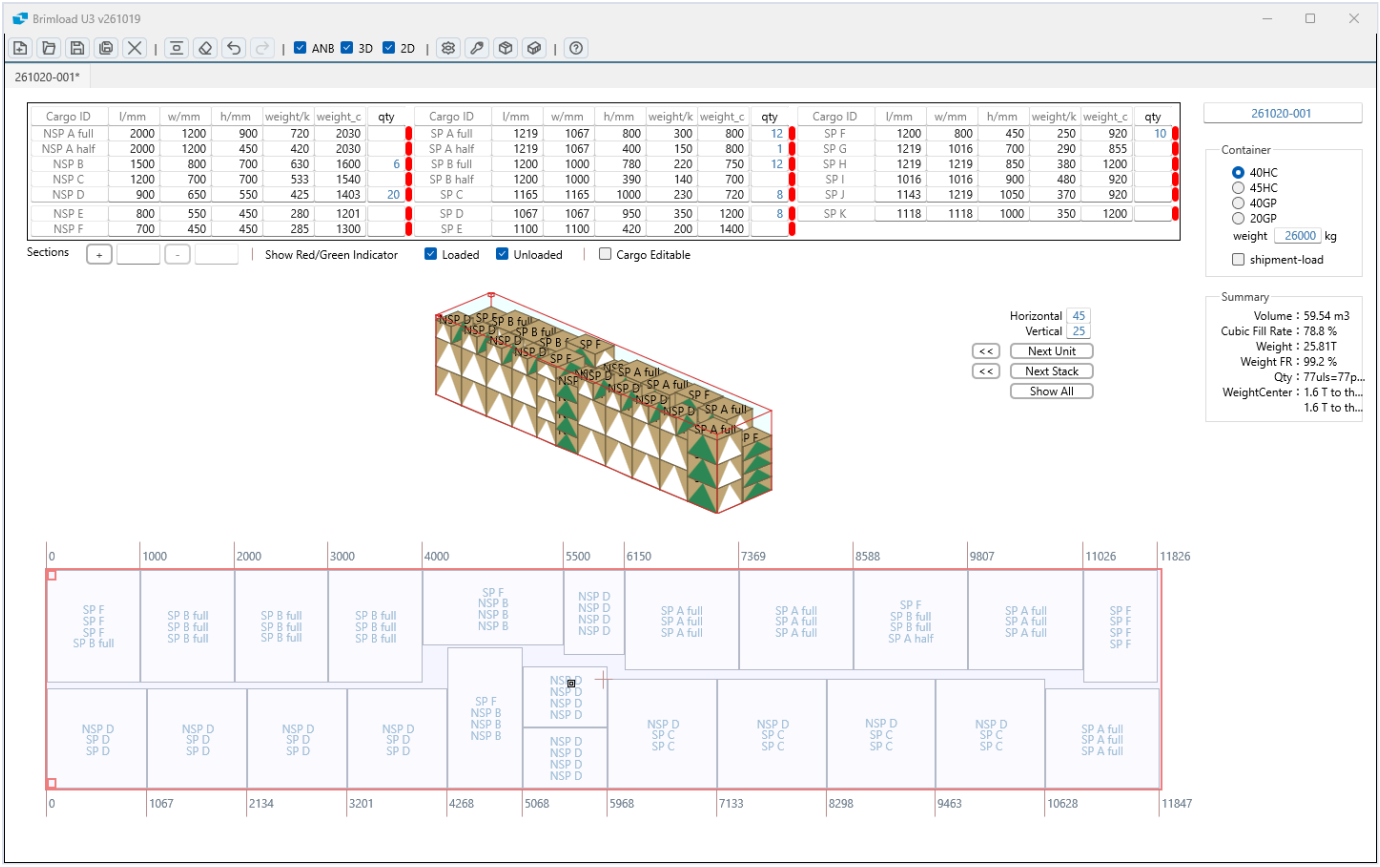


積まれた貨物がコンテナの後部ドアに近づくと、数量の入力欄の後ろにある信号（ランプ）が、緑ではなく赤になり始めます。緑はその数量をまだ増やせること、赤はそれ以上追加できないこと、つまりソフトウェアのアルゴリズムが積載可能なプランを見つけられなかったことを示します。

各品目には2つの数値が表示されます。qty（数量）は入力する欄、loaded（積載数）は信号の後ろにあり、プランに実際に入っている数です。loadedは、qtyより少ない間は赤で表示されます。プラン上で手動で貨物を削除・追加しても、qtyは変わりません。

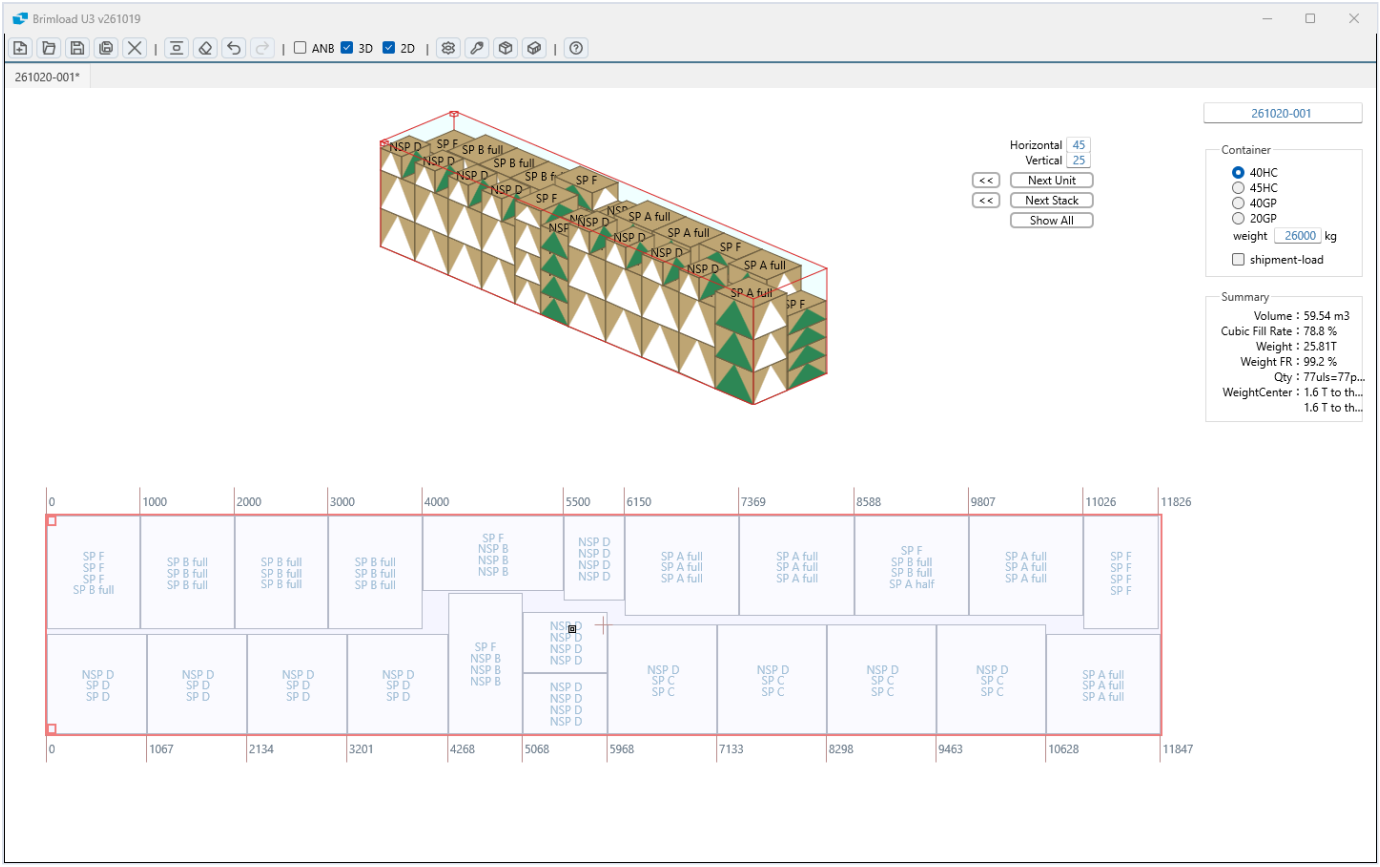


まず納期が近い品目を積み、次に赤と緑の信号を頼りに、さまざまな組み合わせで任意の品目を加えて容積積載率を最大にできます。すべての信号を表示することもできます（まだ数量のない品目も含めて）。すべての信号が赤のときは、別の品目の数量を減らさない限り、ある品目を増やすことはできません。

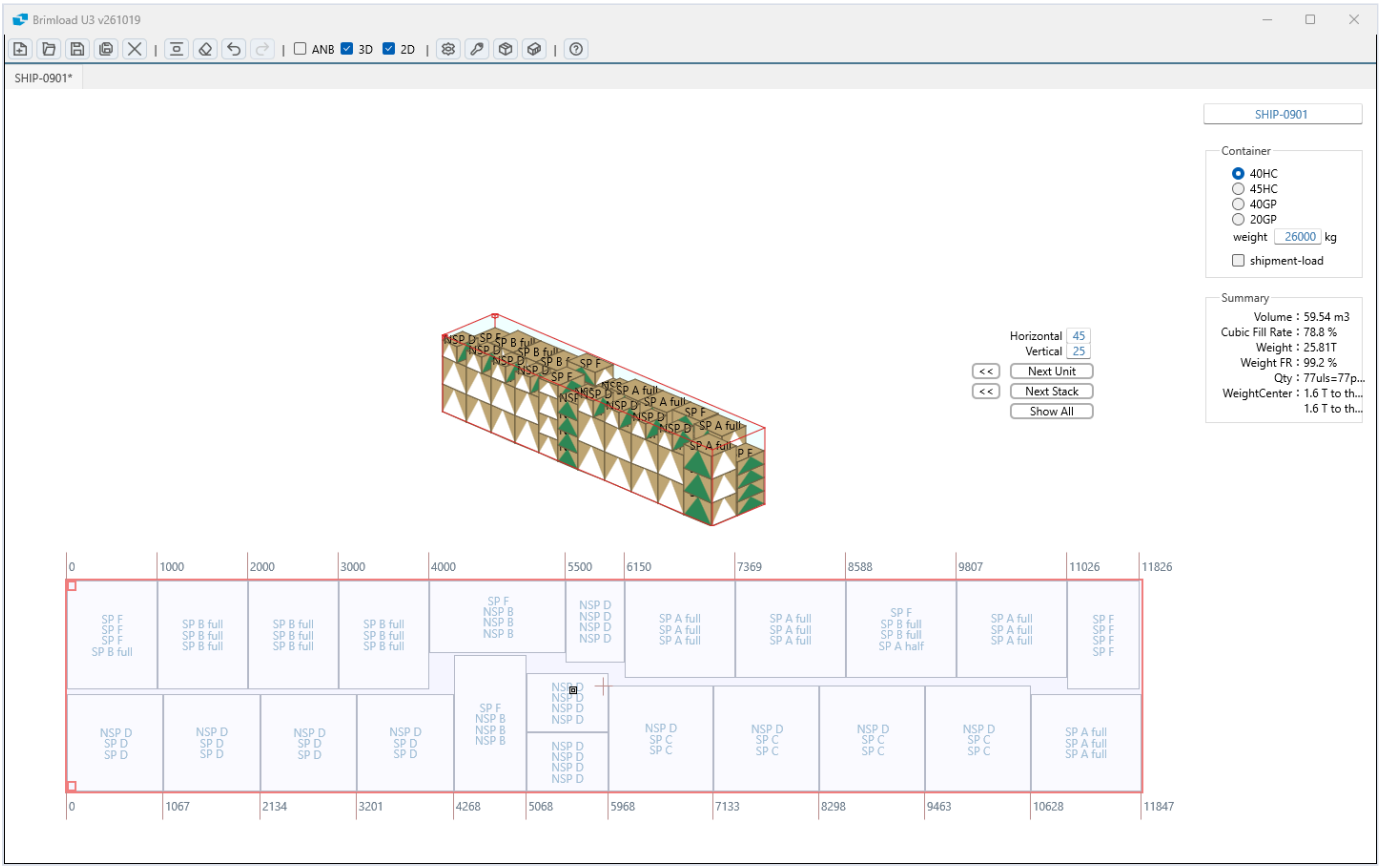


積付けプランは集計データで評価します。容積（m^3）と容積積載率、さらに重量制限に関わる積載重量と重量積載率です。3Dビューで積付けプランを確認し、たとえば積み山をより安定させるなどの調整をすることもできます（積付けプランの対話的な編集については第3章を参照）。

下のプランでは、スペースの面ではNSP Dをもっと追加できそうですが、現在の重量積載率99.2%から、重量制限によってそれ以上追加できないことがわかります。

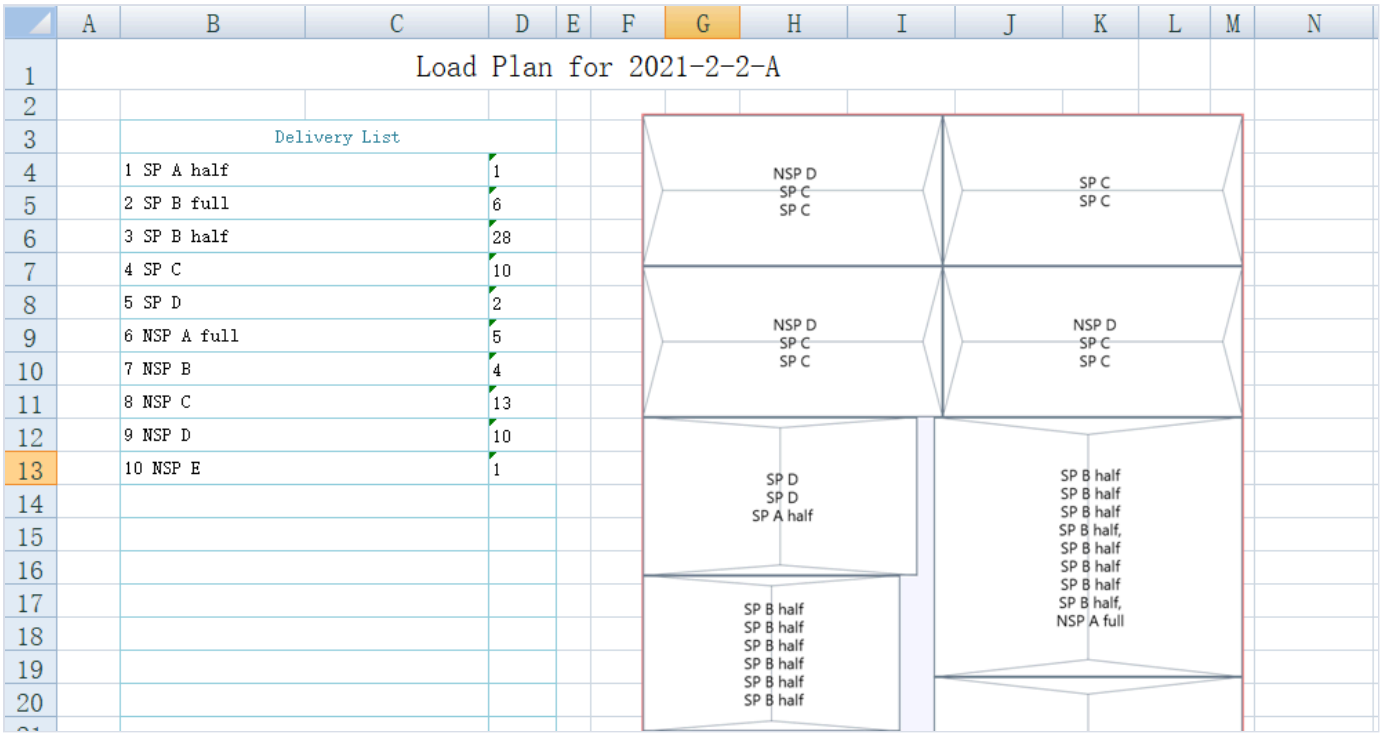


積付けプランに満足したら、ID欄に名前を入力します。



次に、ツールバーのSave（保存）をクリックするとExcelの書類が作成され、印刷や送付に使えます。

保存したプランに後で戻るには、ツールバーのOpen（開く）をクリックしてそのExcelファイルを選びます。プランが新しいタブに読み込まれ、編集や再エクスポートができます。



Load Plan for 2021-2-2-A

Delivery List	
1 SP A half	1
2 SP B full	6
3 SP B half	28
4 SP C	10
5 SP D	2
6 NSP A full	5
7 NSP B	4
8 NSP C	13
9 NSP D	10
10 NSP E	1

次のコンテナを計画したいときは、ツールバーのClear（クリア）をクリックすると、すべての数量がクリアされ、コンテナが空になります。

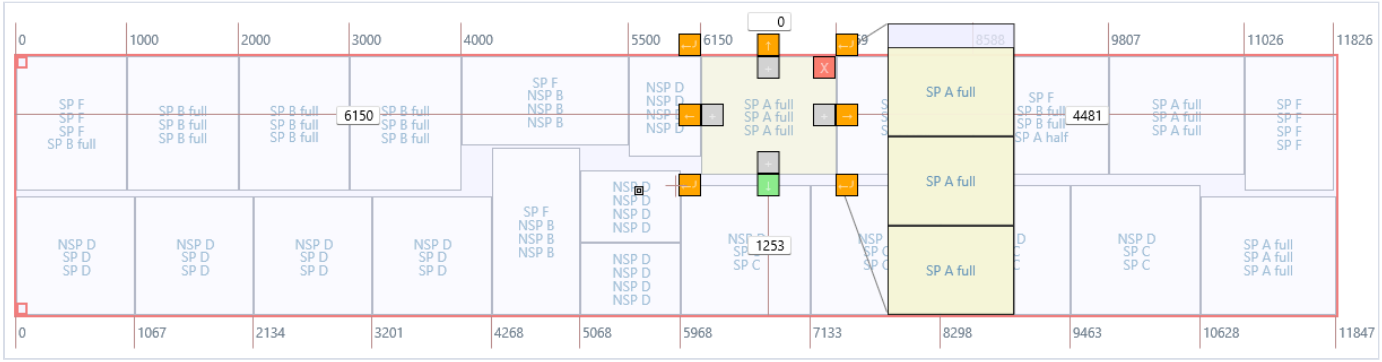
3 積付けプランを編集する

2Dビュー（平面図）では、コンテナの積付けプランを対話的に編集できます。これは次のような場合に便利です

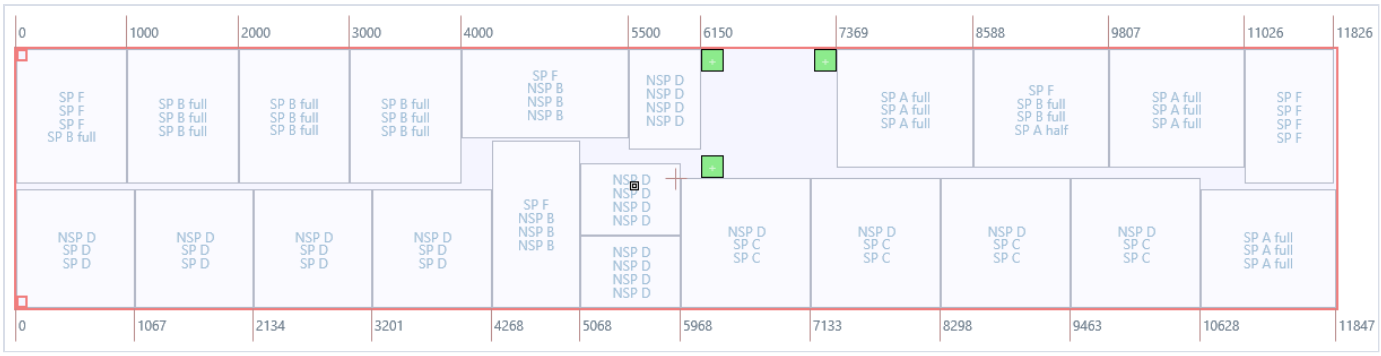
- 何らかの理由でプランを変更する必要があるとき。たとえば、積込み作業をしやすくするため。
- 別の方法で作った積付けプランがあり、ソフトウェアで検証して図を描きたいとき

3.1 積み山を選択して移動する

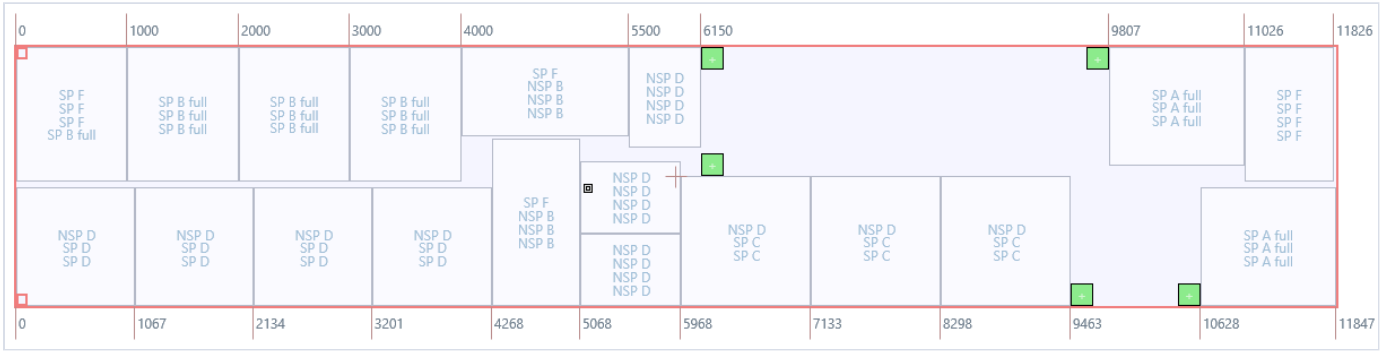
2Dビューで積み山をクリックすると選択されます。



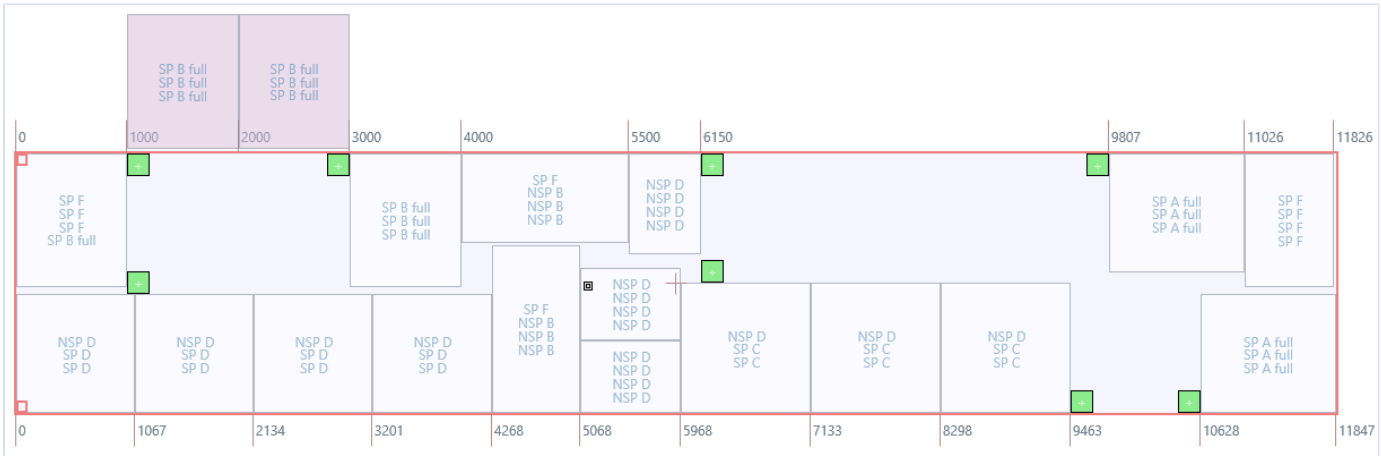
赤い削除ボタンをクリックすると積み山が削除されます。元に戻すボタンで変更を取り消せます。



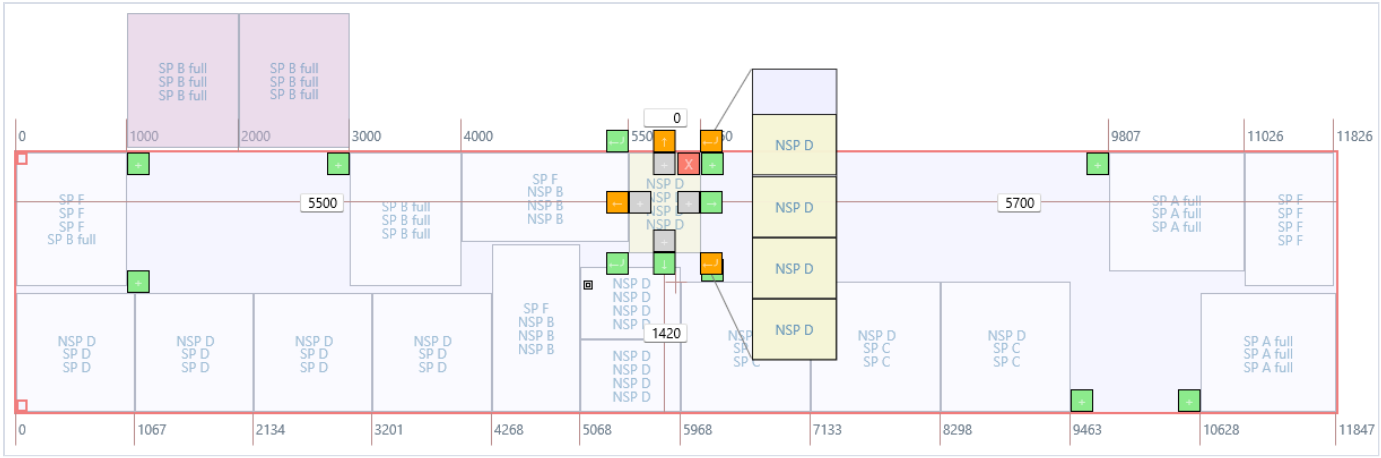
複数の積み山を並べ替えたいときは、それらを削除してスペースを空けることができます

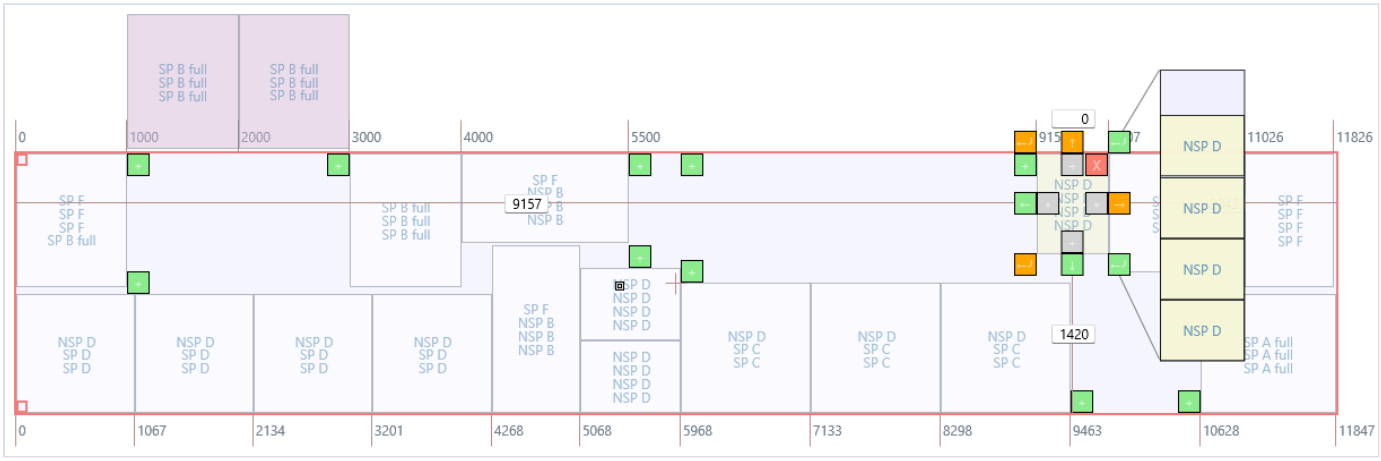


または、移動ボタンをクリックして、いったんコンテナの外に出してから配置し直すこともできます

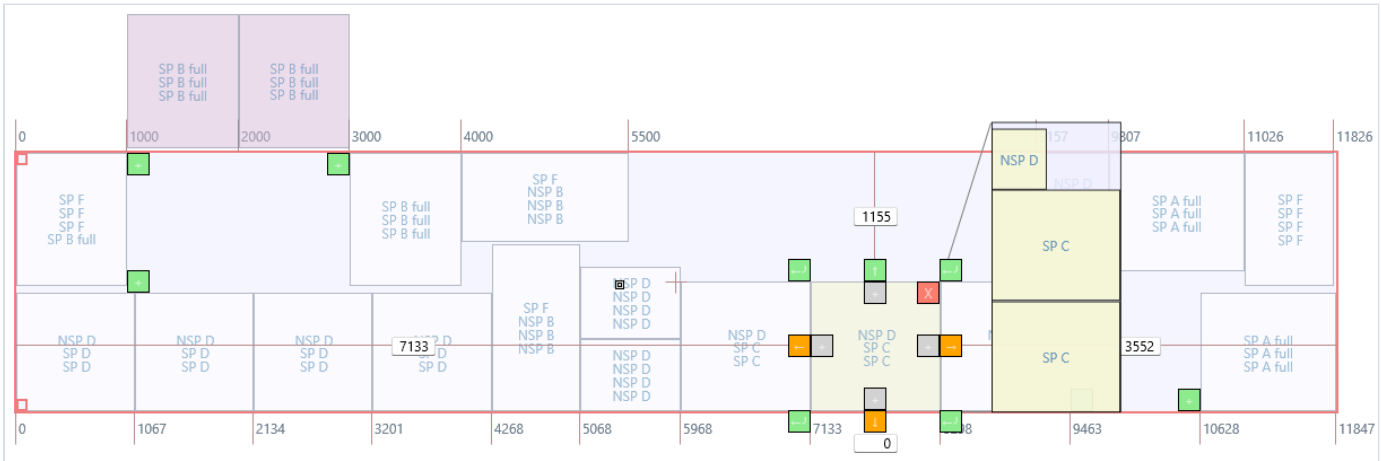


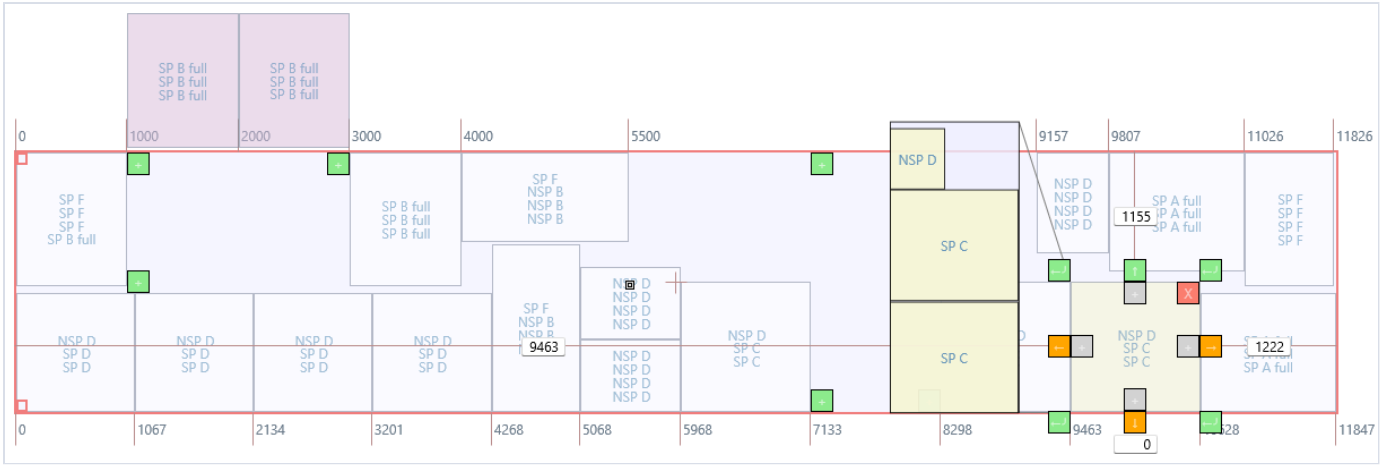
選択した積み山には、積み山の枠の奥側、ドア側、左、右に4つの移動ボタンが表示されます。緑のボタンは、その方向に積み山を動かすスペースがあることを示します。クリックすると、別の積み山かコンテナの壁に当たるまで移動します。

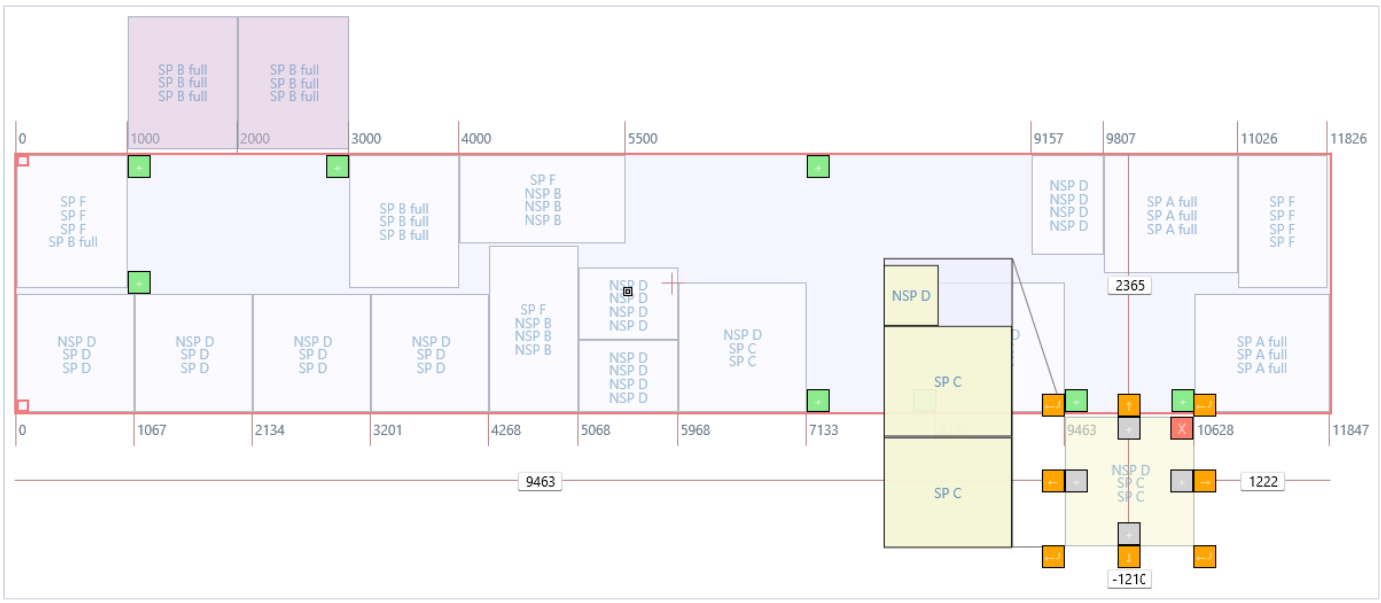




オレンジのボタンは、その方向への移動が何かに妨げられていることを示します。それでもクリックして移動を実行でき、積み山は障害物を飛び越え、場合によってはコンテナの外に出ます。これは積み山の位置をより柔軟に操作できるようにするためのもので、移動のスペースを空けるために積み山を削除する必要はありません。



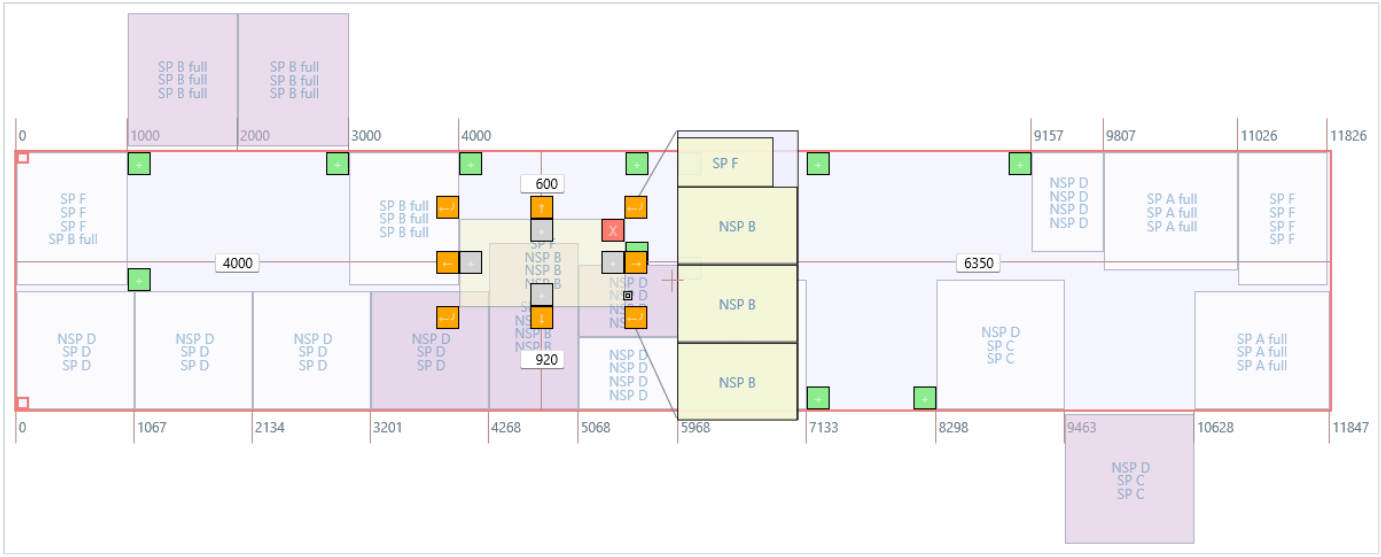




選択した積み山の四方には距離の数値ボックスも4つ表示され、積み山とコンテナの壁またはドアとの距離をmmで示します。

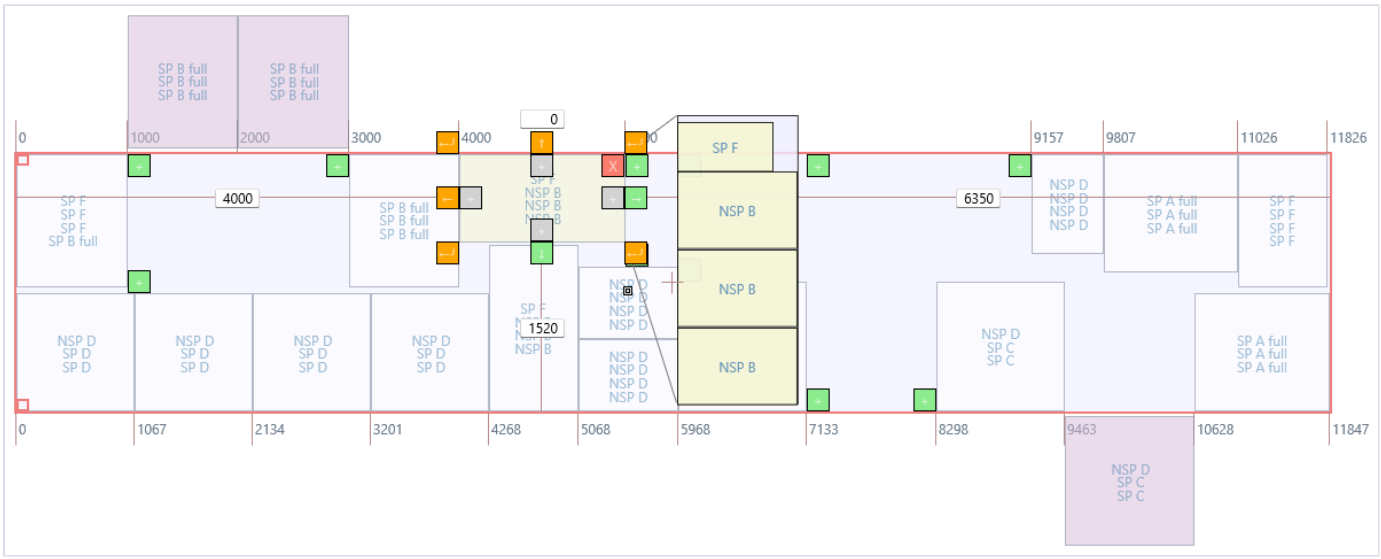
この距離は、新しい数値を入力するか、マウスホイールで増減して変更でき、それに応じて積み山がその壁から離れたり近づいたりします。

入力した数値によって積み山がほかの積み山と重なることもあります。その場合は下の図のように色が付いて警告され、さらに配置し直す必要があることを示します。

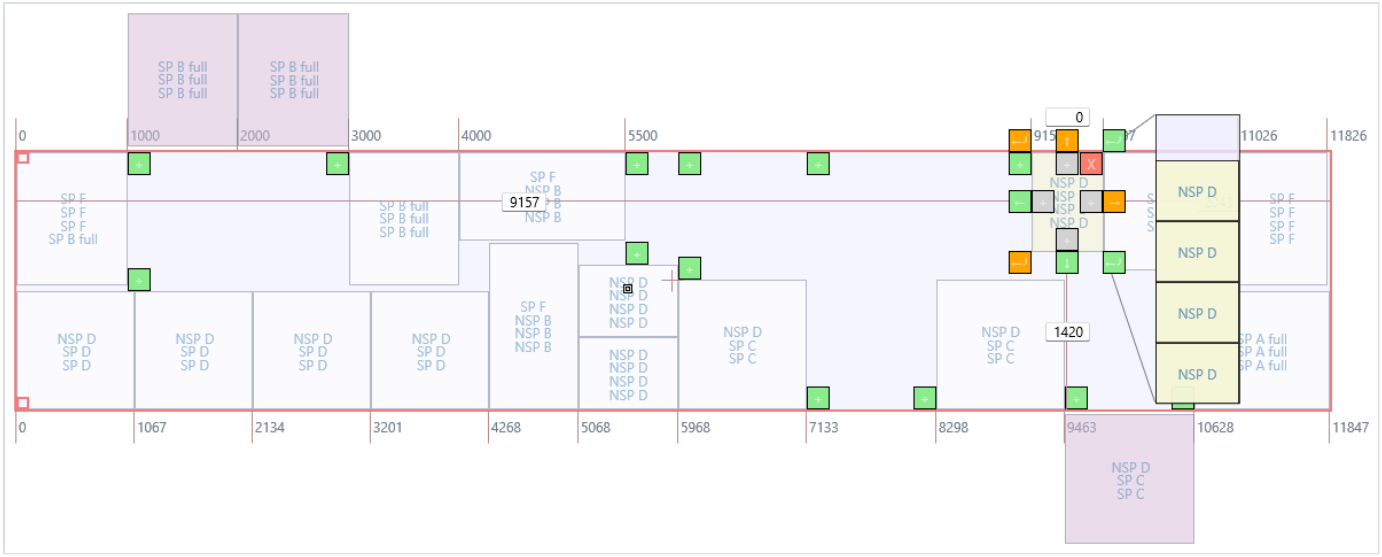


積み山を選択していると、空きスペースの隅に緑のボタンが表示されることがあります。1つをクリックすると、選択した積み山がその隅に寄せて配置し直されます。

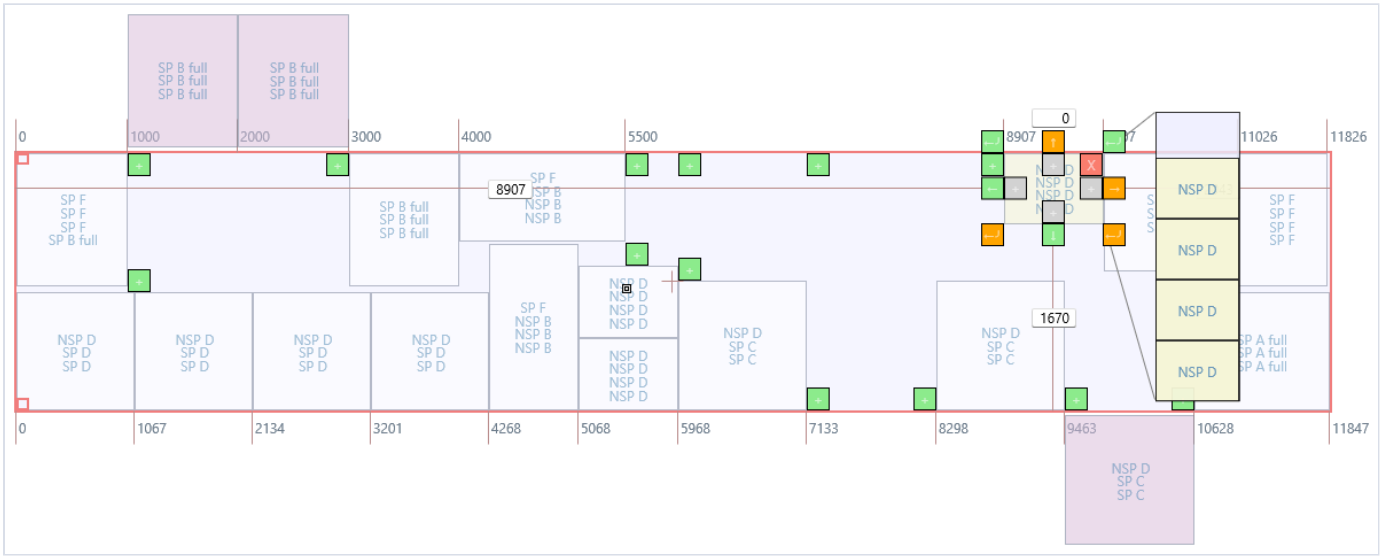
たとえば、コンテナの奥側の右のスペースにある緑のボタンの1つをクリックすると、選択した積み山が元の位置に戻ります。



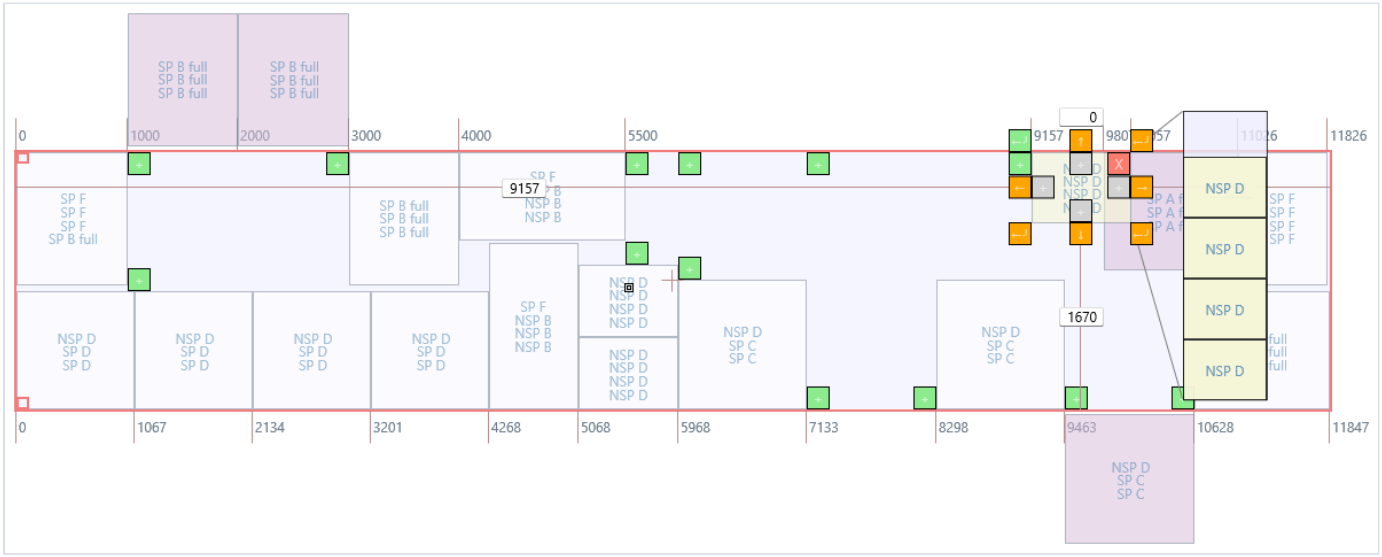
選択した積み山の四隅には4つの回転ボタンが表示され、対応する隅を軸にして、積み山を水平面内で90度回転できます。



緑の回転ボタンは、回転してもスペースが重ならないことを示します

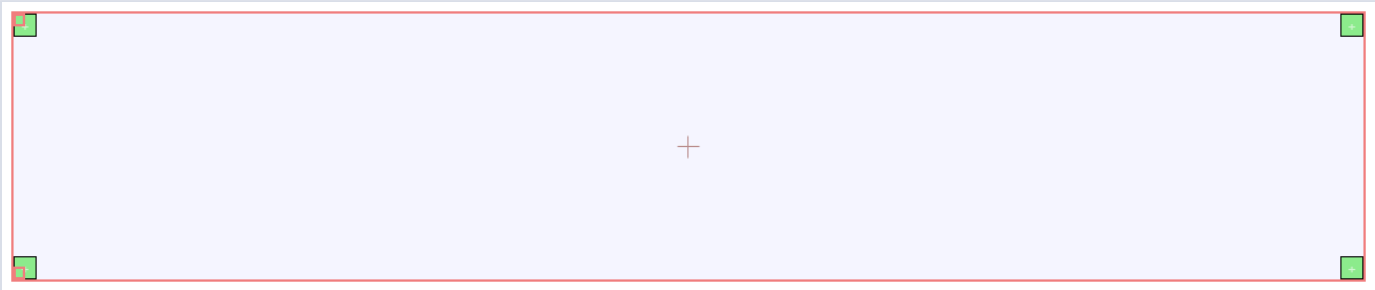


一方、オレンジのボタンは、回転後に貨物やコンテナの壁と重なることを示します。それでも、編集の柔軟性を高めるために操作できるようになっています。



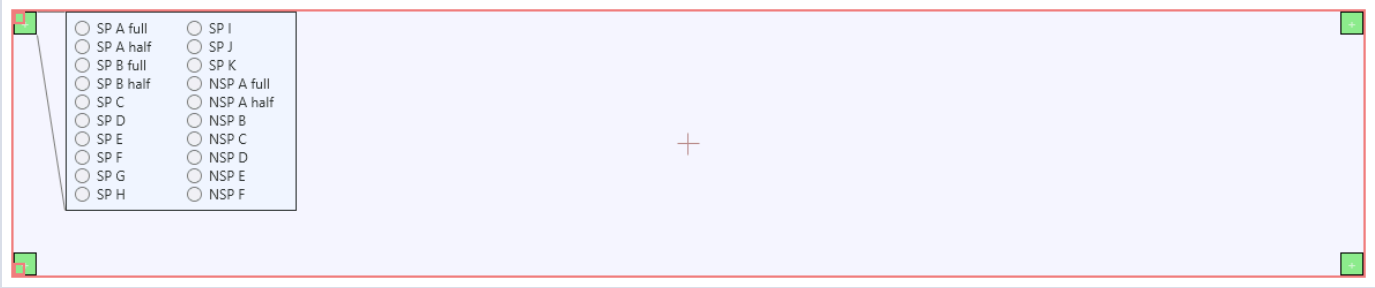
3.2 新しい積み山を作る

ツールバーのClearをクリックしてコンテナを空にします。コンテナのスペースの四隅に4つの緑のボタンが表示され、新しい積み山を作る位置を選べます。

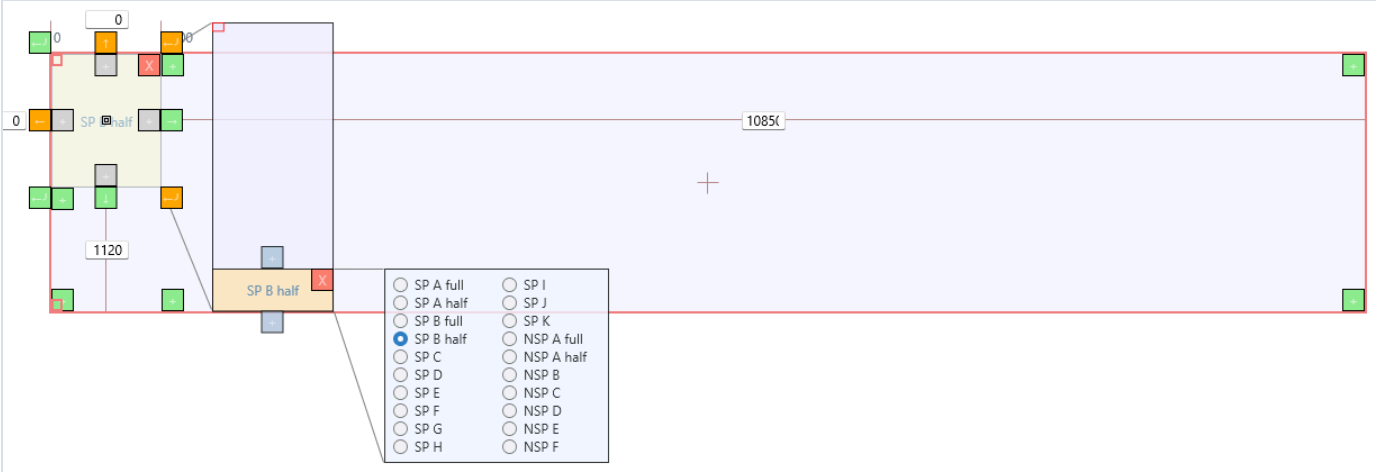


比べてみると、積み山を選択しているときに隅の緑のボタンをクリックすると、選択した積み山がその隅に寄せて配置し直されます。一方、積み山を選択していないときにこれらの緑のボタンをクリックすると、新しい積み山が作られます。

たとえば、奥側の右の隅のボタンをクリックすると、品目を選ぶパネルが表示されます



品目を選ぶと、その品目のユニットが1つそこに置かれ、それが新しい積み山の下段のユニットになります。



続けて新しい積み山を追加し、3.3節のように積み山を編集し、3.1節のように移動・回転すれば、一から新しい積付けプランを作れます。

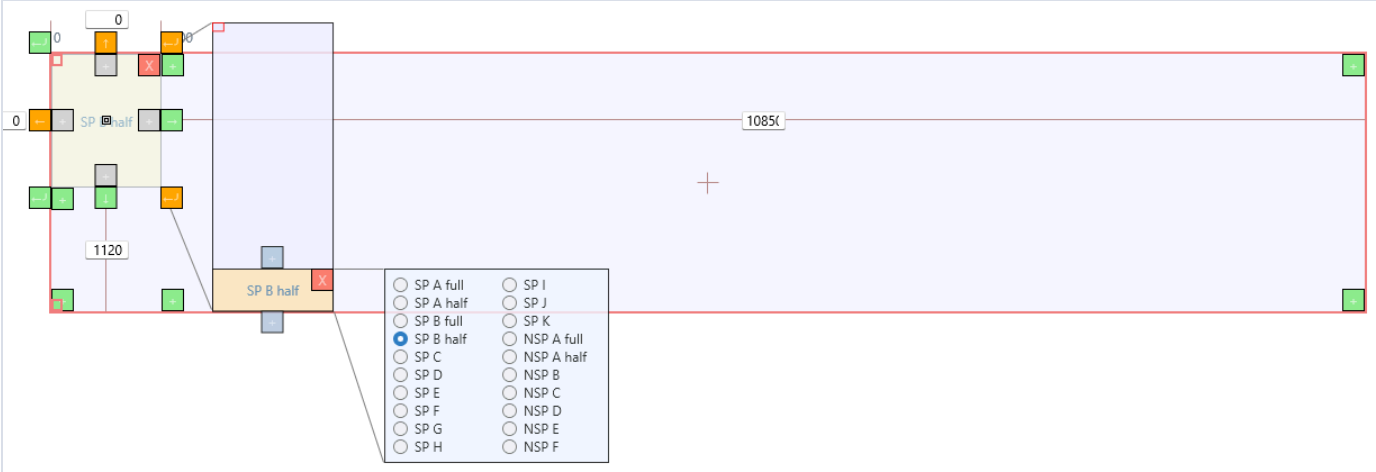
3.3 積み山のユニットを編集する

このBrimloadソフトウェアのエディションでは、積付けプランは貨物の積み山で構成され、各積み山は1つの下段のユニットと、その上に積まれたユニットからなります。積み山は、上のユニットが下のユニットより幅が広くならず、下のユニットの耐荷重（上に積める重さ）を超えないというルールを満たすように作られます。

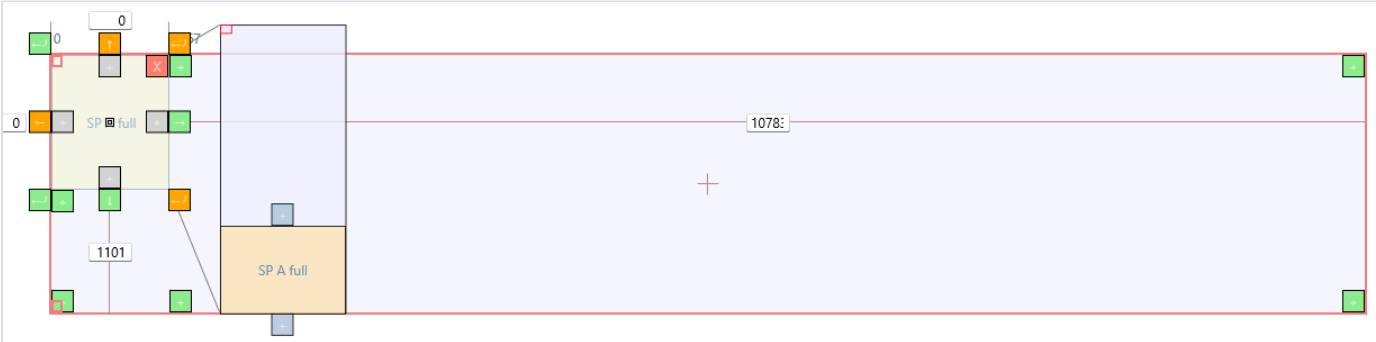
このバージョンが対応しているのは1on1（1個の上に1個）と2on1（1個の上に2個）のパターンだけです。つまり、3on1（1個のユニットの上に3個を横に並べる）にも、1on2（同じ高さの2個のユニットの上に1個を橋渡しする）にも対応していません。

積み山を選択すると、横に積み山の編集パネルが表示され、積み山のユニットの積み重なりが示されます。そこでクリックして、積み山の中のユニットを選択できます。

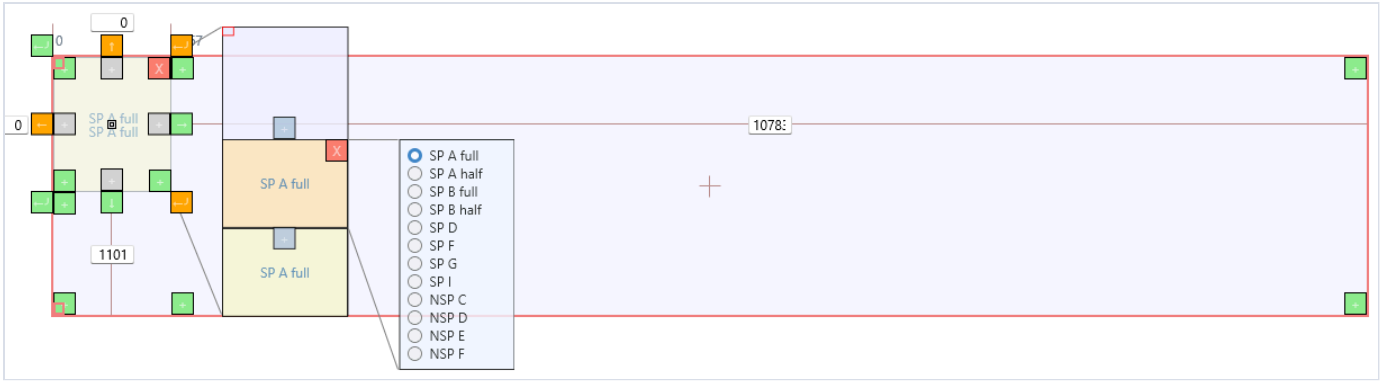
ユニットを選択すると、ユニットを変更するための品目選択パネルと、その上下に2つの追加ボタンが表示されます。



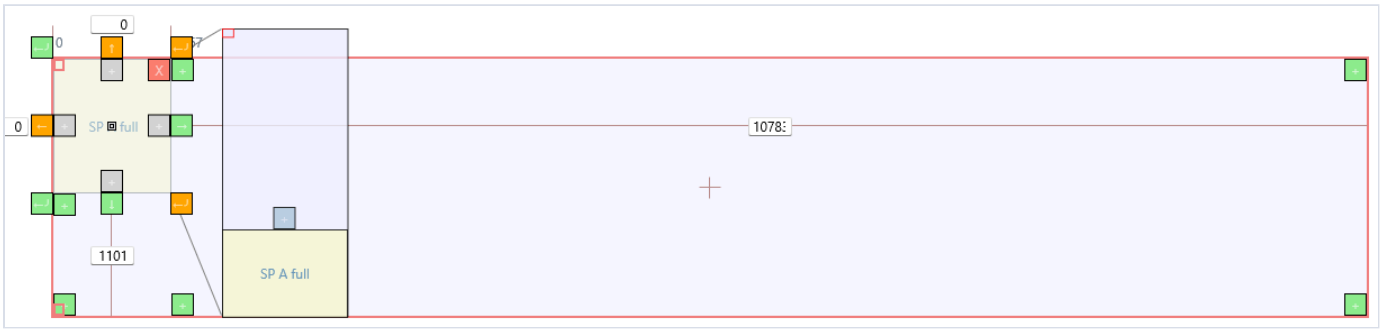
別の品目を選んでユニットを変更できます。



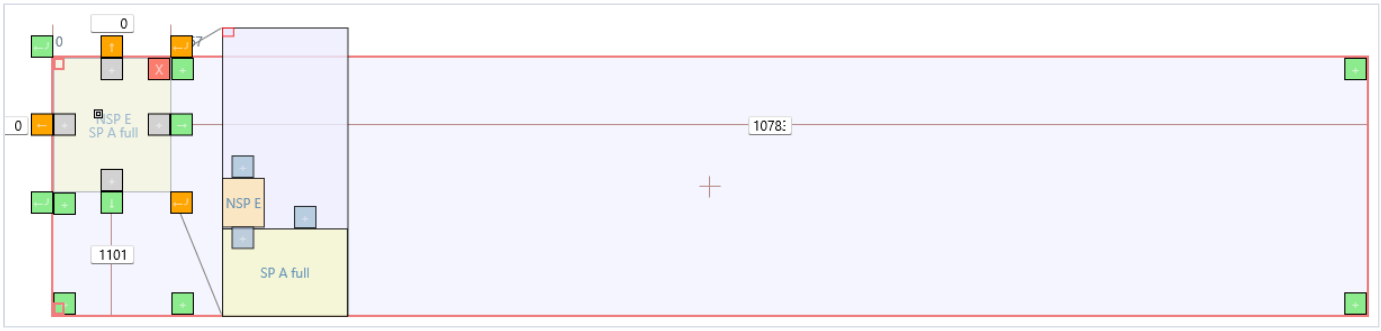
上の追加ボタンをクリックすると、そこにユニットが追加されます。追加したユニットには自動的に同じ品目が選ばれるので、たいていはクリックが1回少なくて済みます。同じ品目にしたくないときは、品目選択パネルでもう一度クリックして、目的の品目に切り替えてください。



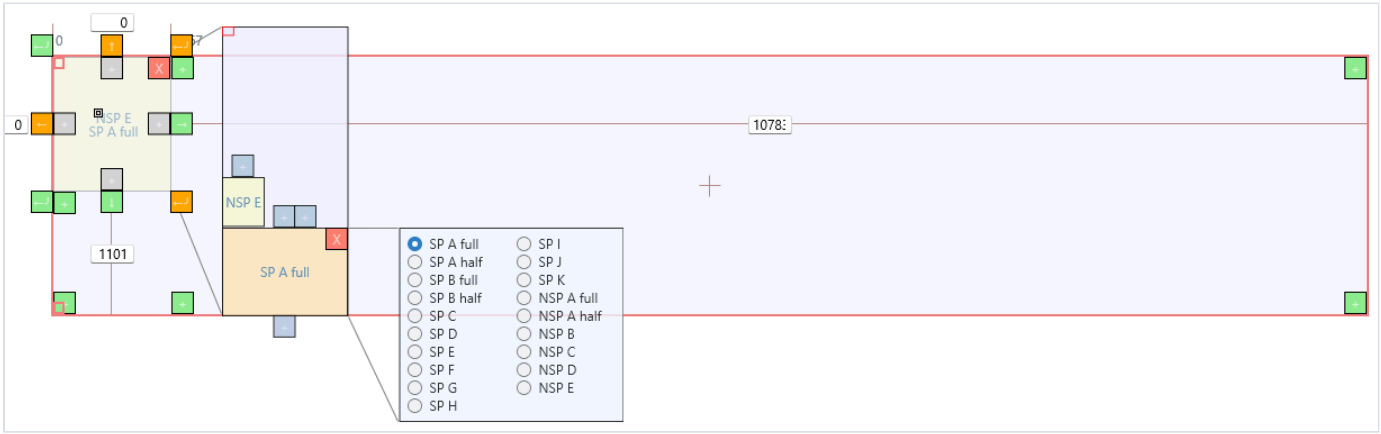
赤い削除ボタンをクリックすると、選択中のユニットが削除されます。



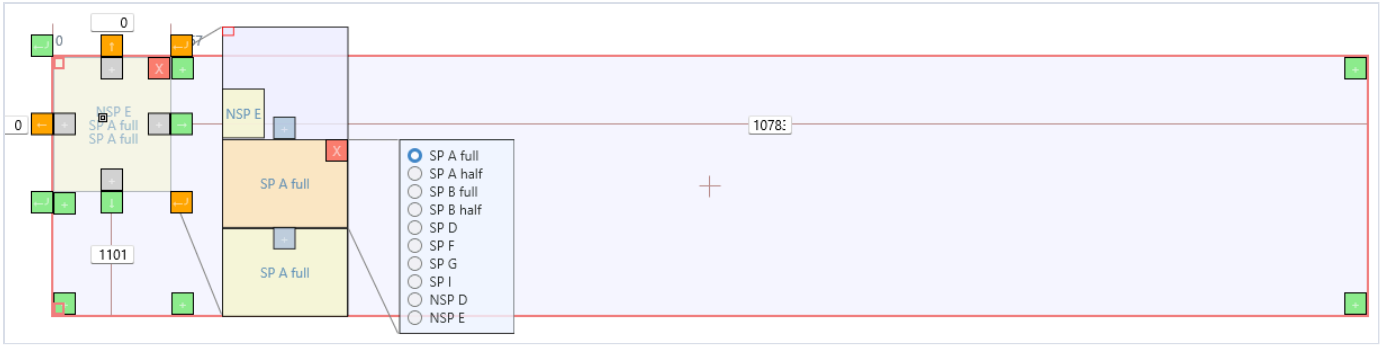
大きなユニットの上に小さなユニットを追加したとき、



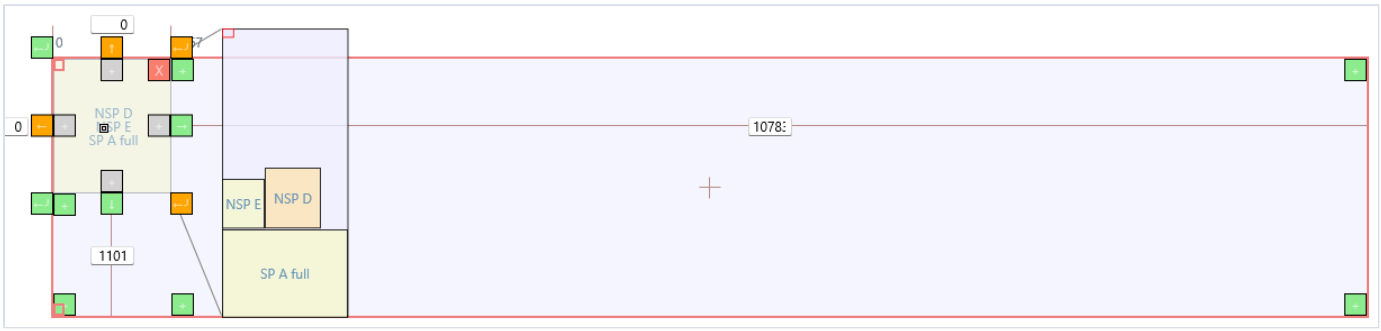
大きい方のユニットを選択すると、その上に2つの追加ボタンが表示されます。



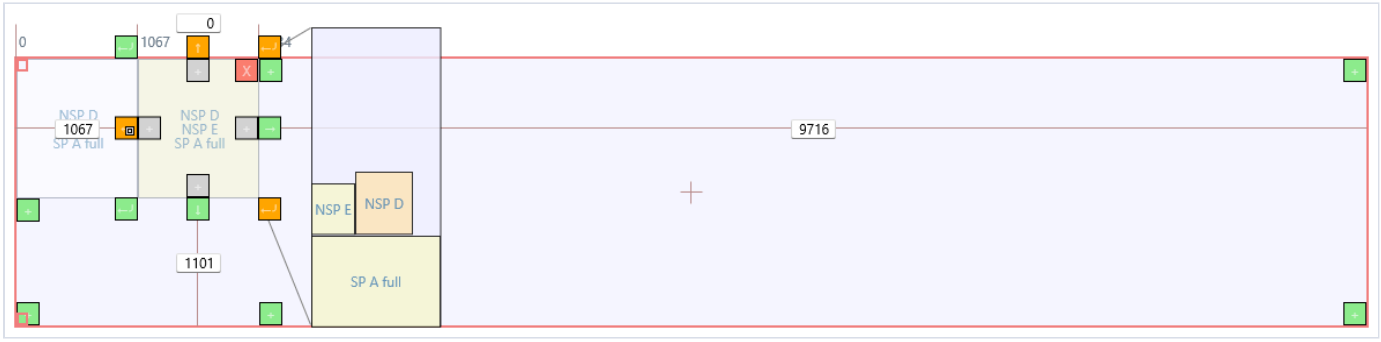
上面の中央にあるボタンは、既存の2つのユニットの間にユニットを挿入するためのものです。

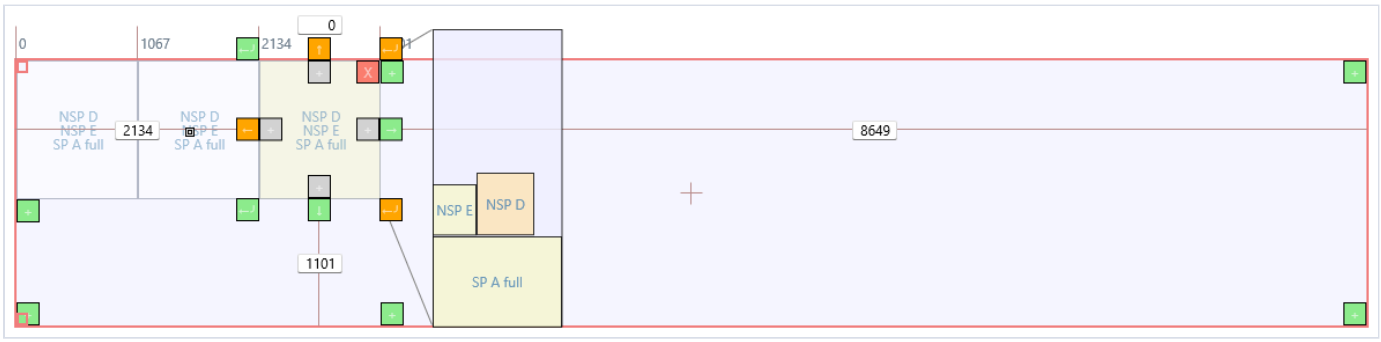


もう1つは、下段のユニットの上で、上のユニットの横にユニットを1つ追加するためのものです



積み山を作った後、そのコピーを作りたいときは、選択した積み山の追加ボタン（赤い削除ボタンの下）をクリックすると、元の積み山の後ろにコピーが作られます。

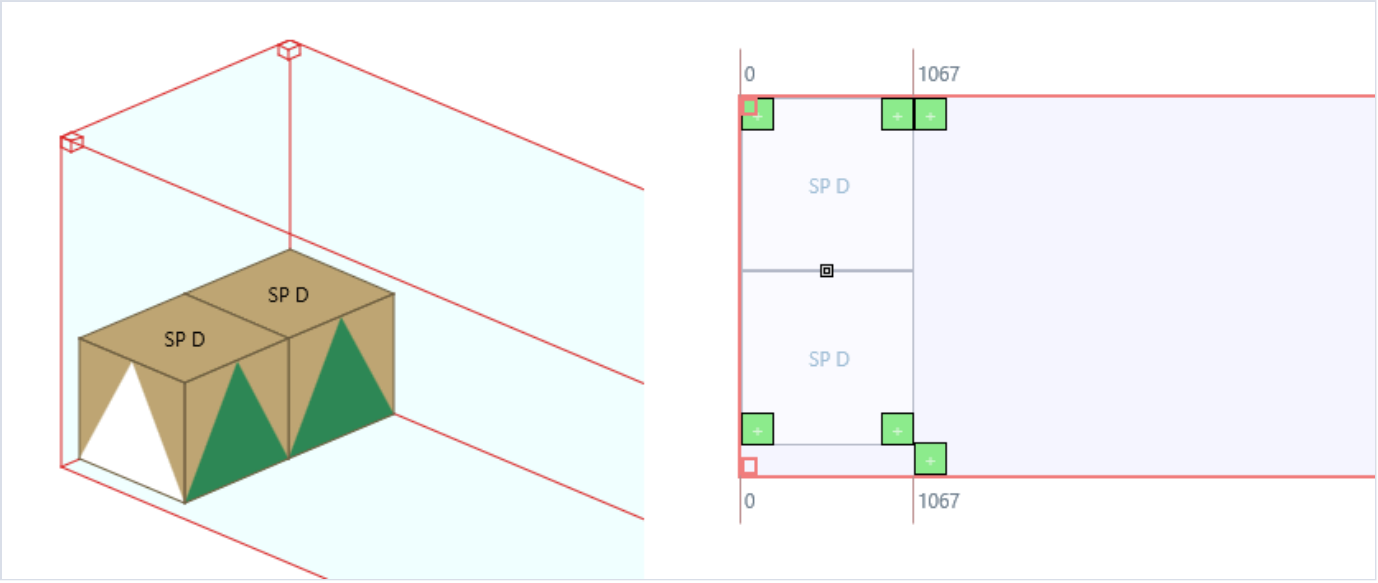




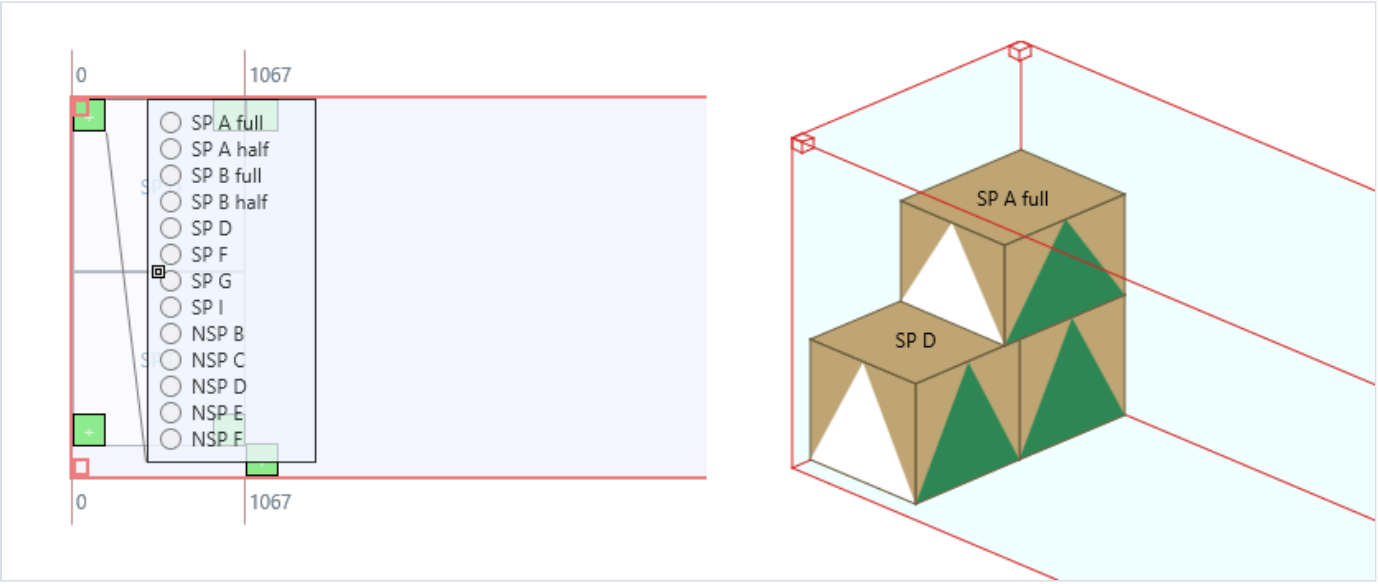
3.4 共通天面にユニットを置く

これまでの積み方では、長さと幅が同じかそれより大きいユニットの上にしか、ユニットを置けません。いくつかの積み山の高さが同じなら、その天面を共通天面（同じ高さの2つの積み山がつくる共通の天面）として認識し、新しいユニットの積み山を置くことができます。

下の例を見てください。2つの積み山の高さが同じなので、共通天面に4つの配置ボタンが表示されます。



緑のボタンの1つをクリックすると、その位置に置ける品目の候補一覧が表示され、そこにユニットを置けます。候補一覧は、共通天面の耐荷重を考慮して作られています。



4 用途に合わせてソフトウェアをカスタマイズする

4.1 コンテナのスペースを指定する

コンテナの種類のコントロールでは、次のことができます

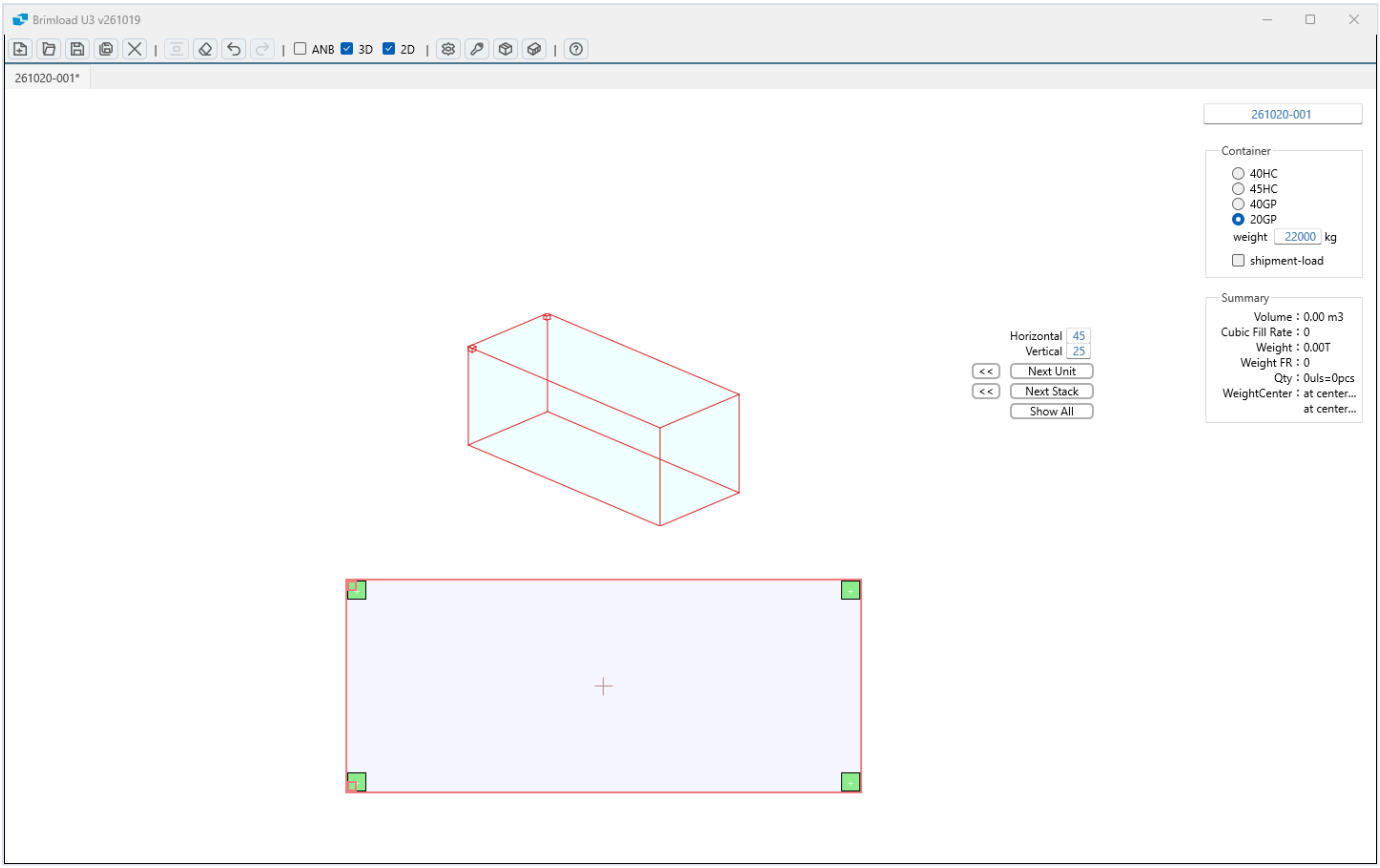
4種類のコンテナを切り替える

貨物の重量制限を変更する

さらに、一部積載済みのコンテナのスペースを指定する

体験版には、よく使われる4種類のコンテナの仕様がdata/u3/masterdata.xlsxのcontainersシートに入っています。ソフトウェアは起動時にこのデータを読み込み、「Container」（コンテナ）欄の選択肢として表示します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	ID	nner length/mI	nner width/mm	nner height/mm	rner fitting length/	rner fitting width/m	rner fitting height/	oor frame depth/m	oor height limit/m	ength margin/mW	idth margin/mm	eight margin/m	Weight capacity/kg
2	40HC	12000	2340	2690	110	110	85	150	2580	150	20	80	26000
3	45HC	13500	2340	2690	110	110	85	150	2580	150	20	80	26000
4	40GP	12000	2340	2330	110	110	85	150	2270	150	20	80	26000
5	20GP	5810	2340	2330	110	110	85	150	2270	150	20	80	22000



これらの種類やパラメーターがお使いの状況に合わない場合は、masterdata.xlsxのcontainersシートを編集し、ソフトウェアでマスターデータを読み込み直すと変更が反映されます。既存のコンテナの長さ、幅、高さ、重量制限は、Container Tableページでも編集でき、明示的に保存します。すき間（クリアランス）、コーナー部材、後部ドア付近の高さ制限などの細かい項目はExcelを使ってください。仕様の確認にサポートが必要な場合はZhiHuoにお問い合わせください。

コンテナの種類ごとの最大積載量は、港や国によって異なる場合があります。そのため、コンテナの種類を選んだ後（重量制限の数値もそれに合わせて変わります）、重量制限のパラメーターをさらに指定するとよいでしょう。

「shipment-load」（一部積載済みのコンテナ）チェックボックスとそのパラメーターは、スペースの一部がすでにふさがっているコンテナに貨物を積む場合に使います。たとえば、LCL（混載）やミルクラン（巡回集荷）の運用などです。

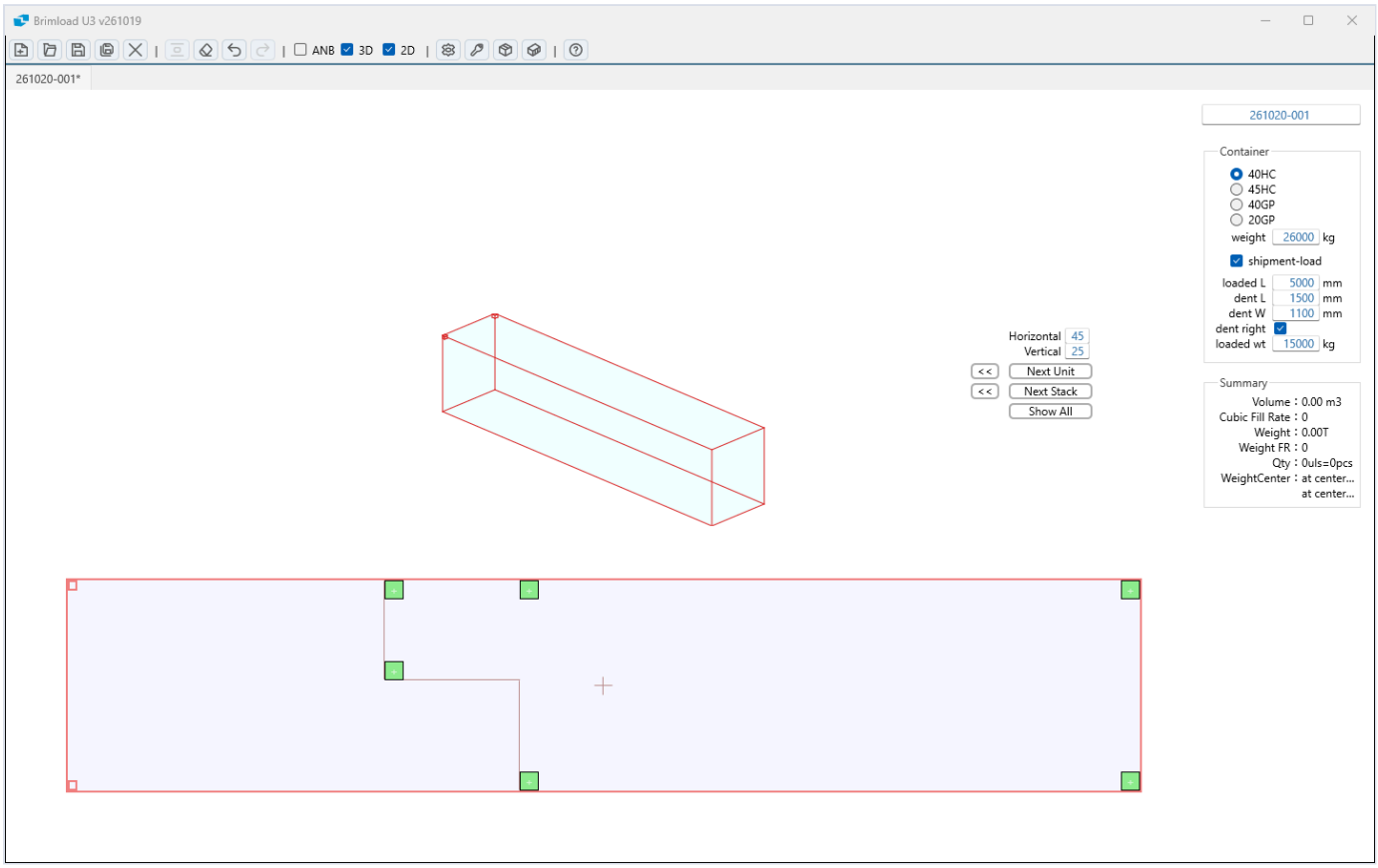
先に積まれた貨物が占めるスペースは、次の項目で指定します

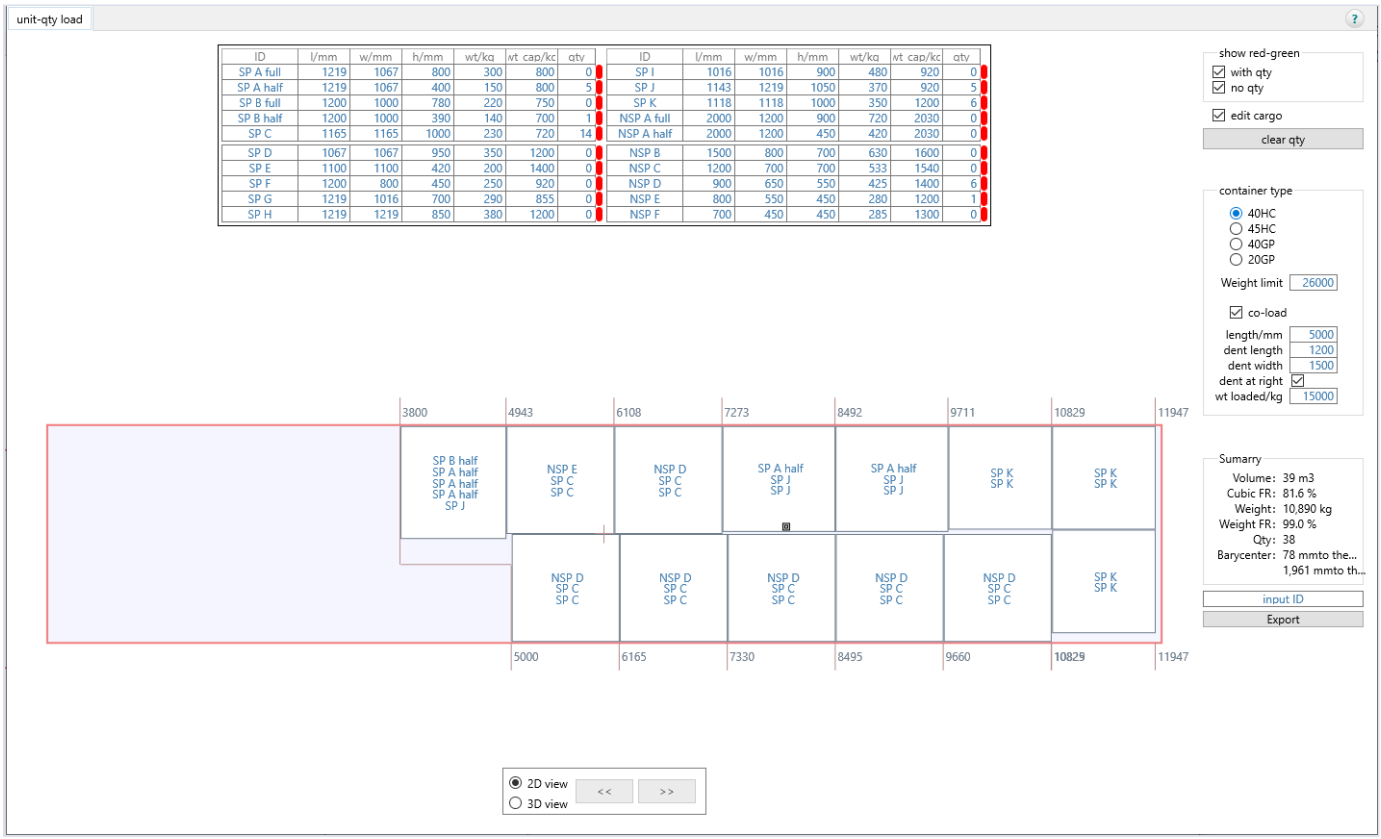
- コンテナの使用済みの長さ（奥から）。
- その使用済みの長さの中に、まだ使える空き（くぼみ）がある場合は、次の項目
- くぼみの長さ
- くぼみの幅

- くぼみはコンテナの右側か？

最後に、先に積まれた貨物の重量で、残りの最大積載量を計算します。下の例では、コンテナの最大積載量は26,000 kgですが、すでに15,000 kgが積まれているので、残りのスペースに積めるのは11,000 kgだけです。

-





4.2 品目のパラメーターを編集する

この体験版には、標準と非標準のパレット寸法を使った品目のサンプルパラメーターが入っています。データはdata/u3/masterdata.xlsxのcargosシートに保存されており、ソフトウェアの起動時に読み込まれます。

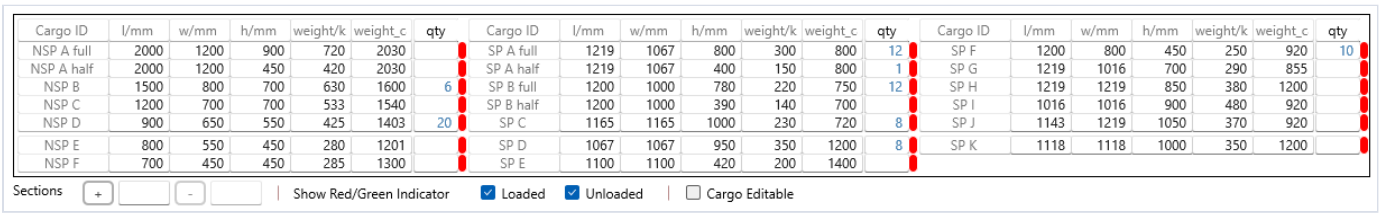
	A	B	C	D	E	F
1	Name	Length/mm	Width/mm	Height/mm	Weight/kg	Capacity/kg
2	SP A full	1219	1067	800	300	800
3	SP A half	1219	1067	400	150	800
4	SP B full	1200	1000	780	220	750
5	SP B half	1200	1000	390	140	700
6	SP C	1165	1165	1000	230	720
7	SP D	1067	1067	950	350	1200
8	SP E	1100	1100	420	200	1400
9	SP F	1200	800	450	250	920
10	SP G	1219	1016	700	290	855
11	SP H	1219	1219	850	380	1200
12	SP I	1016	1016	900	480	920
13	SP J	1143	1219	1050	370	920
14	SP K	1118	1118	1000	350	1200
15	NSP A full	2000	1200	900	720	2030
16	NSP A half	2000	1200	450	420	2030
17	NSP B	1500	800	700	630	1600
18	NSP C	1200	700	700	533	1540
19	NSP D	900	650	550	425	1403
20	NSP E	800	550	450	280	1201
21	NSP F	700	450	450	285	1300

お使いの貨物の仕様で計算させるには、ソフトウェアを起動する前にmasterdata.xlsxのcargosシートを編集して保存するか、Product Tableページで既存の品目の行を編集して明示的に保存します。出荷ページでのWhat-If分析（試算）の編集は、cargosシートに自動では保存されません。出荷ページでWhat-If 分析として変更した品目をマスターデータにしたい場合は、品目の編集モードでUpdate Master（マスターデータを更新）を使ってください。これで変更がメモリ上のマスターデータに反映されますが、ブックに書き込むには、さらにSave MasterdataまたはSave Masterdata Asが必要です。

このページで寸法を変えた品目は、**Use Master**（マスターデータを使用）の後で名前を変更できます。保存したプランにだけあり、マスターデータにない品目は、このページでは名前を変更できません。

ソフトウェアの画面では、青い数値は編集でき、黒い数値は編集できません。品目のリストの下にある「Cargo Editable」（品目を編集可能）チェックボックスをクリックすると、モードを切り替えられます。

数値ボックスの値は、マウスポインターを合わせてホイールを回すと変わります。便利ですが、意図しない変更が起きることもあります。品目の編集が終わったら、「Cargo Editable」のチェックを外すとよいでしょう。



Cargo ID	l/mm	w/mm	h/mm	weight/k	weight_c	qty	Cargo ID	l/mm	w/mm	h/mm	weight/k	weight_c	qty	Cargo ID	l/mm	w/mm	h/mm	weight/k	weight_c	qty
NSP A full	2000	1200	900	720	2030		SP A full	1219	1067	800	300	800	12	SP F	1200	800	450	250	920	10
NSP A half	2000	1200	450	420	2030		SP A half	1219	1067	400	150	800	1	SP G	1219	1016	700	290	855	
NSP B	1500	800	700	630	1600	6	SP B full	1200	1000	780	220	750	12	SP H	1219	1219	850	380	1200	
NSP C	1200	700	700	533	1540		SP B half	1200	1000	390	140	700		SP I	1016	1016	900	480	920	
NSP D	900	650	550	425	1403	20	SP C	1165	1165	1000	230	720	8	SP J	1143	1219	1050	370	920	
NSP E	800	550	450	280	1201		SP D	1067	1067	950	350	1200	8	SP K	1118	1118	1000	350	1200	
NSP F	700	450	450	285	1300		SP E	1100	1100	420	200	1400								

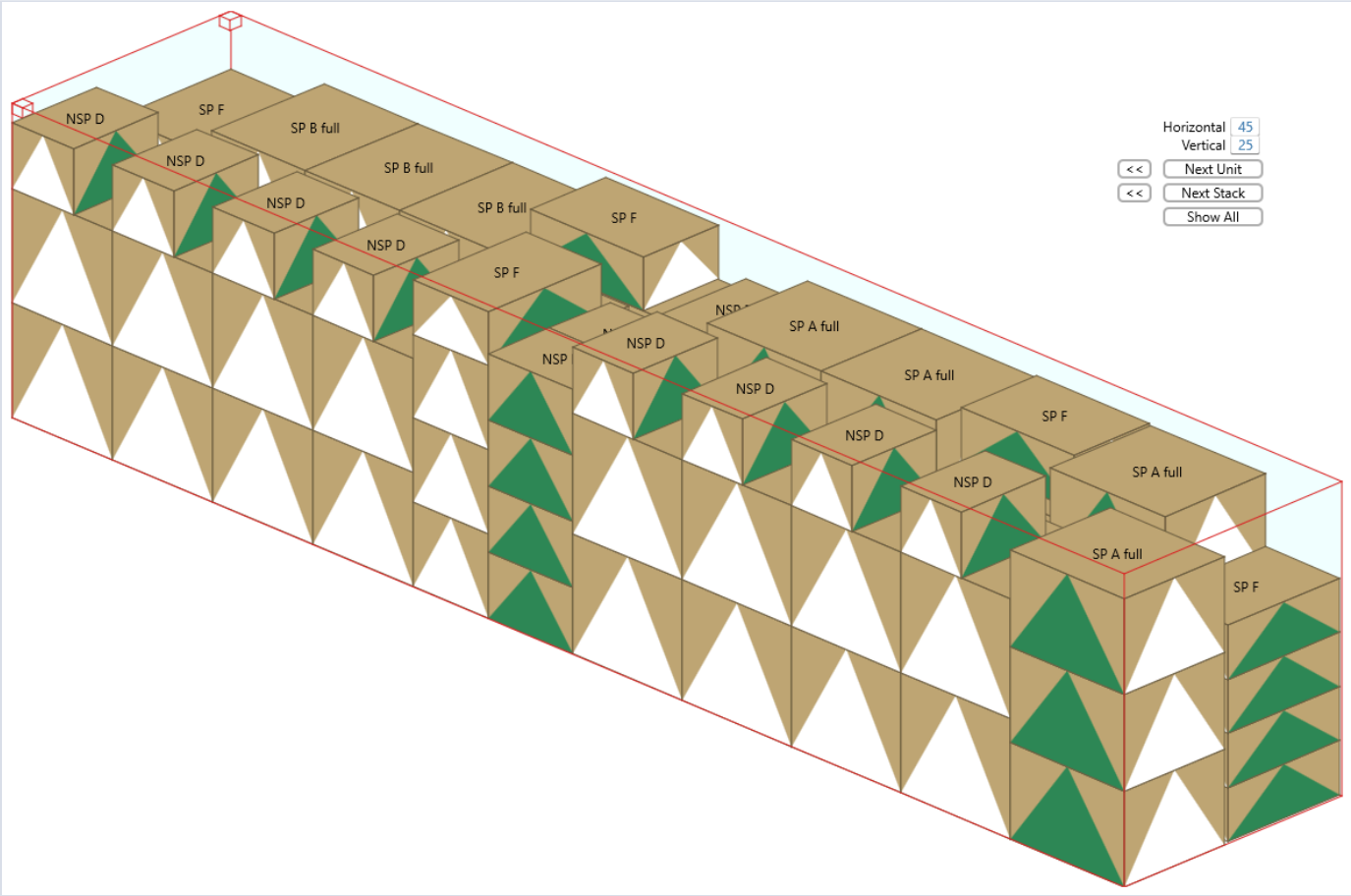
Sections + - | Show Red/Green Indicator | Loaded | Unloaded | Cargo Editable

この体験版では、基本的な段積みと積付けのルールに対応するため、品目ごとに6つのデータ項目があります。貨物にさらに積付けルールやデータ項目がある場合（たとえば最大段数、許可する向き、上のユニットの最大はみ出し量、ユニットの分割ルールなど）は、その扱い方についてZhiHuoにご相談ください。

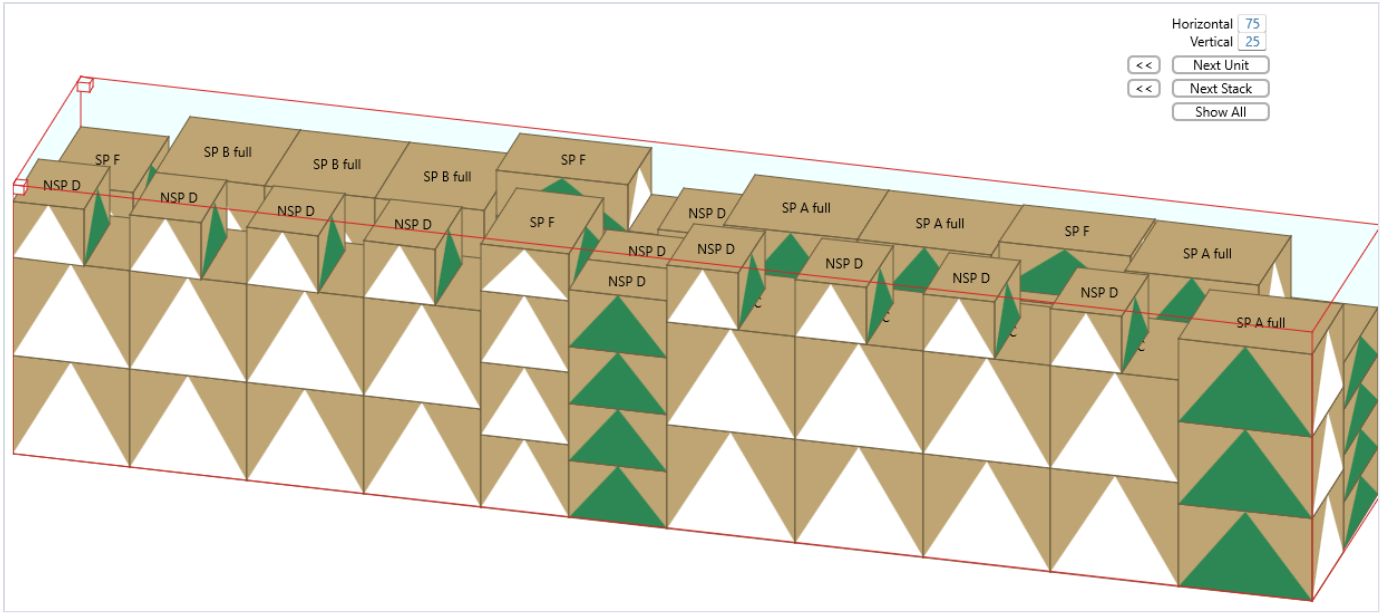
品目のパラメーターを編集すると、ソフトウェアはそのたびに品目と数量の組み合わせを再計算します。動作が遅くなったり気が散ったりするのを避けるには、ツールバーのClearをクリックしてください。ソフトウェアが計算するものがなくなります。

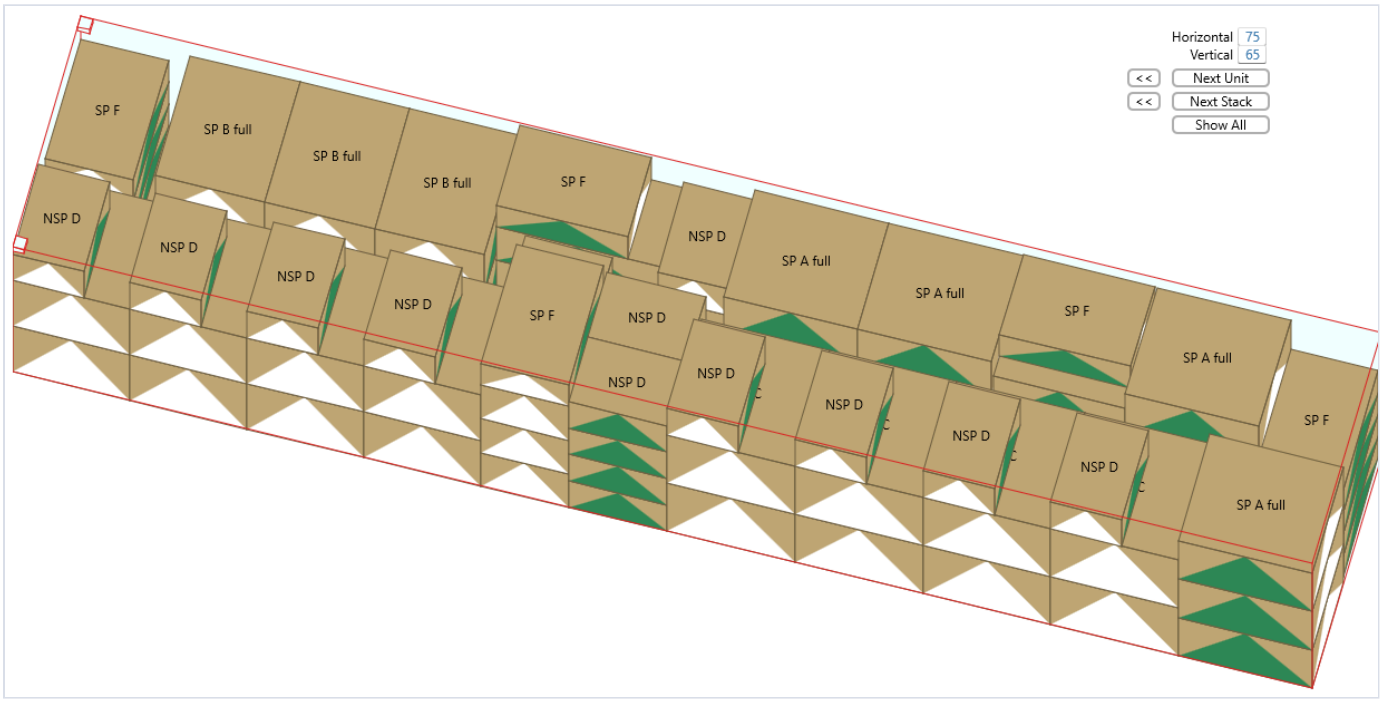
- 3Dビュー

3Dビューでは、緑の三角形が前面（長さと高さの面）を、白い三角形が側面（幅と高さの面）を表します

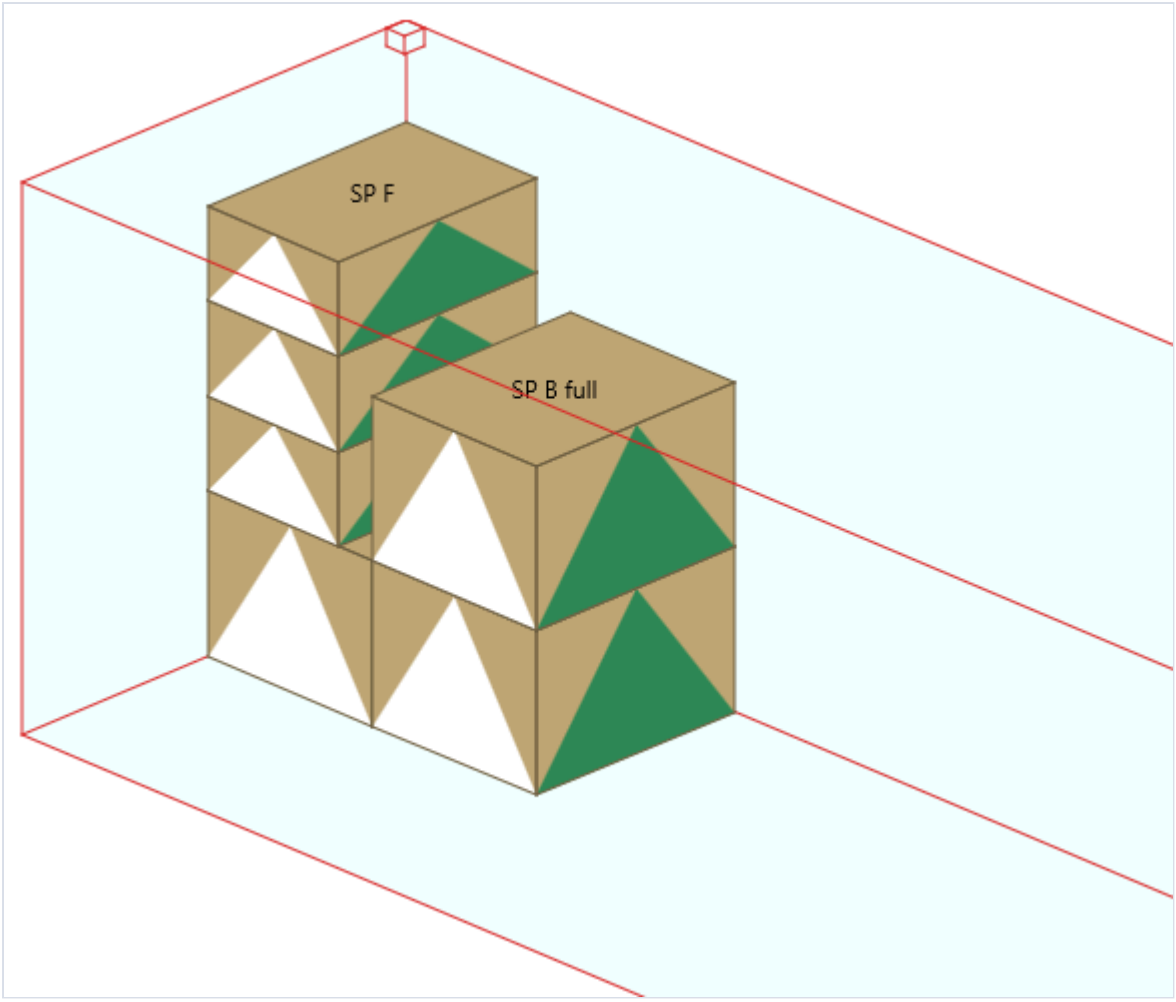


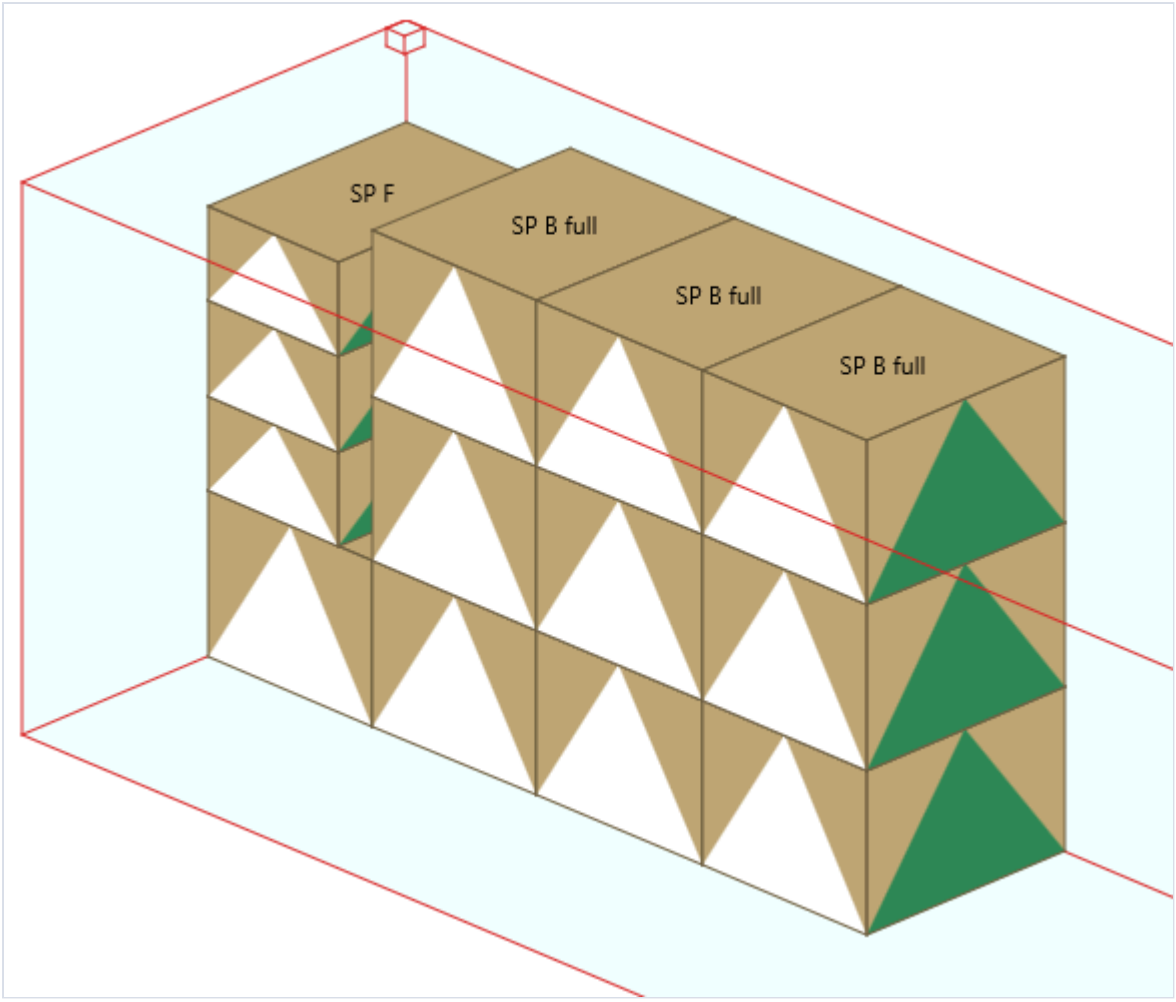
視点の角度の初期値は、水平が45度、垂直が25度です。水平を75度に、次に垂直を65度に変えると





ボタンを使うと、積付けをユニットごとに、または積み山ごとに確認できます。


SP F
SP B full



積み山やユニットを表示する順序は、推奨する積載順序を意味するとは限らず、ほかの方法では見えないものを見るための順序です。

「Show All」（すべて表示）をクリックすると、順番に表示するモードを終了します。